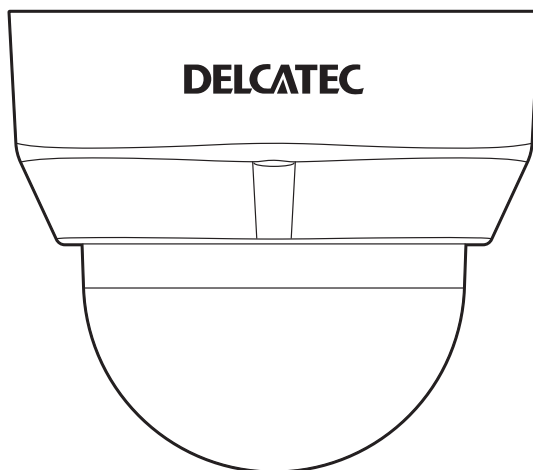


# 顔認証カメラ CNE3CDI1



はじめに

準備

設定

その他

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- ・ この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

# もくじ

はじめに

準備

運用・設定

その他

## はじめに 2

各部の名称 .....	4
接続前の準備 .....	5
リレーボードの規格 .....	5
レンズ方向の調整 .....	6
設置条件 .....	6
周囲の明るさ調整 .....	7
デイモード .....	7
ナイトモード + IR LED .....	7

## 準備 8

接続・設置方法 .....	9
接続前の本体の準備 .....	9
本製品とパソコンを接続する .....	9
本製品と IP カメラシステムのネットワーク レコーダー (別売品) を接続する場合 ...	10
設置の前に .....	11
microSD カードをセットする .....	11
本製品を天井に固定する .....	12

## 運用・設定 14

ログイン画面 (初回) .....	15
ログイン画面 (本製品とパソコンを接続する 場合) .....	16
ログイン画面 (IP カメラシステムのネットワーク レコーダー (別売品) を接続する場合) ...	17
ホーム画面 .....	18
顔認証する写真の登録 .....	19
顔認証と動体検知の設定 .....	21
メールと I/O 通知の設定 .....	22

画像とレンズを調整する .....	23
画像を調整する .....	23
レンズを調節する .....	24
高度な設定 .....	25

ビデオを設定する .....	26
ストリームの設定 .....	26
RTSP の設定 .....	27
HDMI の設定 .....	28
OSD の設定 .....	29
プライバシーマスクの設定 .....	30

オーディオを設定する .....	31
オーディオの設定 .....	31

通知方法を設定する .....	32
メールの通知方法の設定 .....	32
通知カードの確認と追加 .....	33
I/O の通知方法の設定 1 .....	34
I/O の通知方法の設定 2 .....	35
スマート通知のスケジュール設定 ..	36
スマート通知のルール設定 .....	37
スマート通知の通知方法設定 .....	38

ユーザー管理を設定する .....	40
メンバーの検索 / 設定 .....	40
メンバー写真のグループ追加 .....	41
メンバーの新規追加 .....	42
メンバー写真の編集 .....	43
アカウント管理 .....	44
アカウントの新規追加 .....	45
イベントからメンバーの追加 .....	46
データベース設定 .....	48
デバイスの同期 .....	49

映像処理の設定をする .....	50
顔認証の設定 .....	50
動体検知の設定 .....	51

分析設定画面 .....	52
映像処理ライセンスの設定 .....	52

インターネット / ネットワーク	
設定画面.....	53
ネットワークの設定.....	53
システム画面 .....	58
日付&時刻の設定.....	58
メンテナンスの設定.....	59
SD カードの設定 .....	63
ストレージの設定.....	65

# 各部の名称

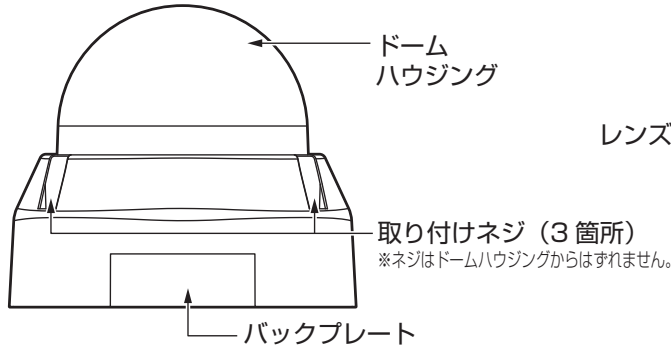
はじめに

準備

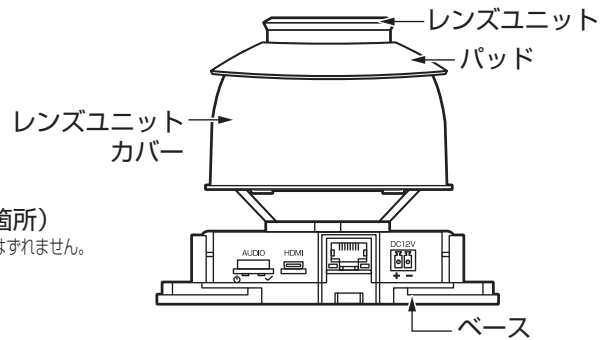
運用・設定

その他

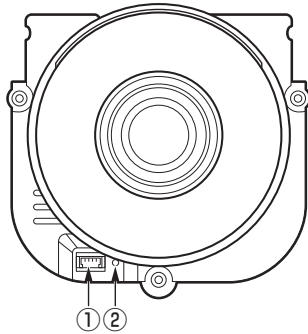
ドームハウジング取付状態 <背面>



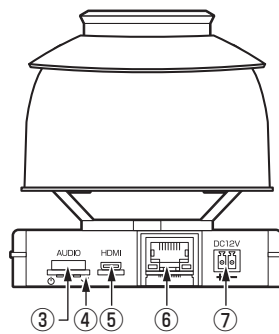
<背面>



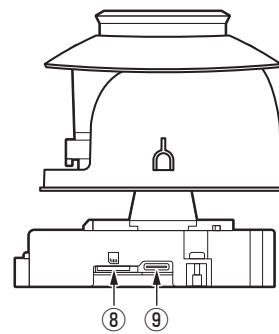
<天面>



<背面>



<側面>



No	名称	説明
①	リレーボード接続スロット	リレーボード接続ケーブル（デジタル入力×1、デジタル出力×2）を接続します。 ・白線：デジタル入力 ・緑線：デジタル出力1 ・青線：デジタル出力2 ・黒線：アース
②	[リセット] ボタン※1	本製品を工場出荷時の初期値にリセットします。
③	オーディオケーブルスロット	オーディオケーブルを接続します。 ・緑のジャック：ライン出力※2 ・ピンクのジャック：ライン入力
④	LEDインジケーター	・電源LED（左）：電源のオン/オフ ・ステータスLED（右）：システムステータス
⑤	HDMIスロット	microHDMI1.4bコネクタ（Type-D）を接続します。
⑥	10G/100Mbpsイーサネット	スイッチングハブやルーターなどとイーサネット経由でネットワークデバイスに接続します。 PoE（Power over Ethernet）対応のLANケーブルを使用して電力を供給できます。
⑦	DC12V	DC 入力端子（2ピン端子台）
⑧	SDカードスロット	microSD スロット（SD、SDHC または、SDXC に準拠） 最大容量 256GB のカードが使用できます。（フォーマットすると自動的に FAT32 形式になります。）
⑨	USBスロット	USB Type-C対応。修理時などの点検に使用します。

※1：ハードウェアまたはソフトウェアのリセットを使用して、カメラをリセットできます。

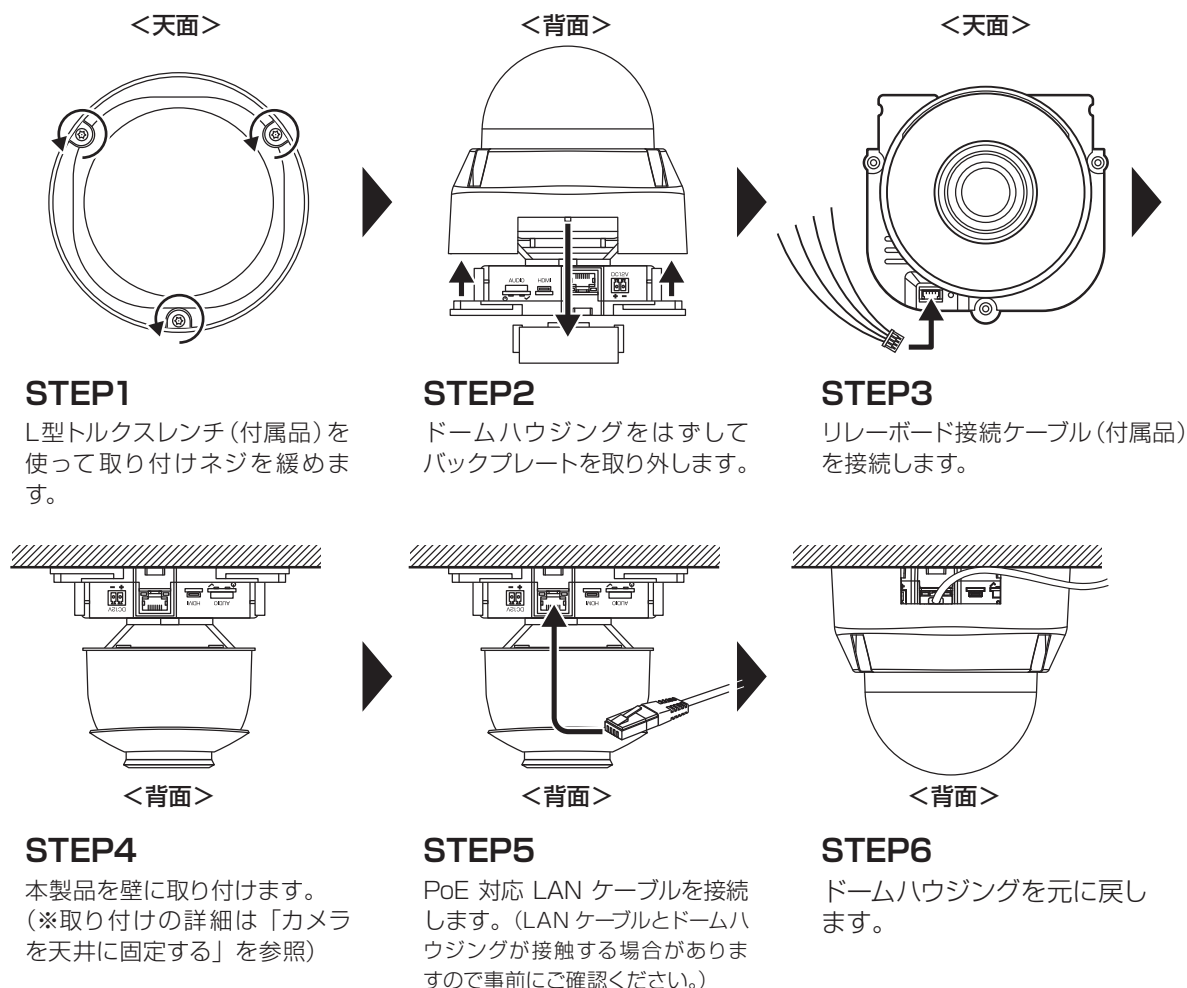
※2：ライン出力は、将来の機能拡張用のため現在ではご使用できません。

## LED動作

No	名称	LED	動作
④	電源 / ステータス	左：電源（緑）	電源オンの時は、電源LEDが緑点灯します。電源オフの時は消灯します。
		右：ステータス（緑）	電源オンの時は、ステータスLEDが正常に動作した時に緑点灯します。 [リセット] ボタンを押すと緑点滅し、システムエラー発生時は消灯します。
⑥	イーサネット	左：リンク/ACT（緑）	リンクLEDは、ネットワークにデータ送信した時に緑点滅します。
		右：スピード（オフ/オレンジ/緑）	オフは、伝送速度が10Mbpsであることを示します。 オレンジ色は、伝送速度が100Mbpsであることを示します。 緑色は、伝送速度が1000Mbpsであることを示します。

# 接続前の準備

<ご注意> 長時間のご使用後は、本製品が高温になります。十分に冷ましてから作業してください。



はじめに

準備

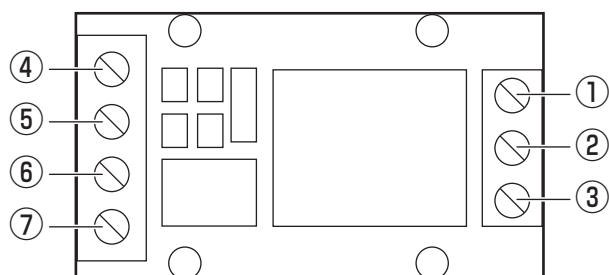
運用・設定

その他

## リレーボードの規格

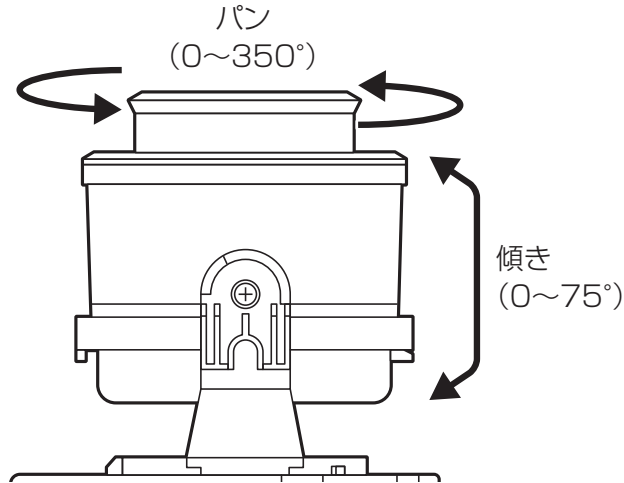
外部機器やデバイスへの接続に使用します。仕様およびピン割り当てについては、以下の表を参照してください。22AWG～28AWG、インピーダンスが100Ω以下のケーブルを使用することをお勧めします。

仕様		No	ピン割り当て	接続
リレー出力	NC、NO、COM	①	NC (ノーマルクローズ)	出力デバイス
リレー容量	10A 120V AC、7A 250V AC、 10A 24V DC	②	COM	
リレーのオン/オフ時間	10ミリ秒/5ミリ秒	③	NO (ノーマルオープン)	
リレー制御ソース	5Vおよびアース	④	DC + 12V	外部電源
寸法	52(W) × 17(H) × 27(D) mm	⑤	GND	
		⑥	+ 5V	デジタル出力 リレーボード接続ケーブル： 緑 (DO_1) または青 (DO_2)
		⑦	GND	リレーボード接続ケーブル：黒



## レンズ方向の調整

- L型トルクスレンチ（付属品）でドームハウジングを取りはずし、さらにパッドとレンズユニットカバーを取りはずしてから、レンズ方向を下図のように手動で調整します。
- フォーカスとズームは Web 管理画面で調整します。詳細については、➡ P.24 の「レンズを調節する」を参照してください。

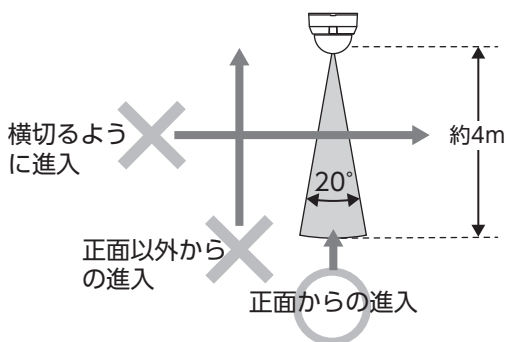


## 設置条件

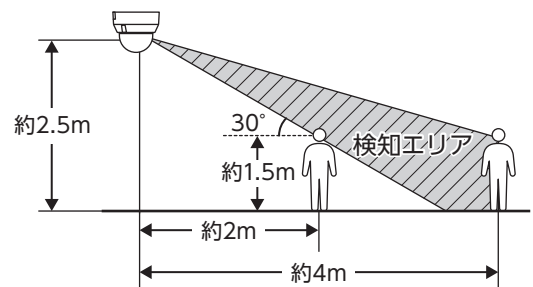
推奨される設置高さや検出距離は次の通りです。

- カメラの高さは 2.5m 以下である必要があります。推奨は 2 ~ 2.5m です。
- ※ フォーカスとズームは、検出される顔と位置合わせする必要があります。
- 水平偏差（左 / 右） $20^{\circ}$  以下、垂直偏差（上 / 下） $30^{\circ}$  以上
- レンズの焦点を調整して、画像が撮れる最適距離は 4m です。

上から見た図



横から見た図（正面のとき）



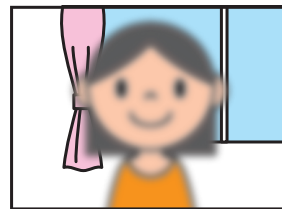
# 周囲の明るさ調整

顔認証は、周囲の明るさが適切である必要があります。照明条件は下記の調整で改善できる場合があります。

## デイモード

認識領域の明るさを確保するために下記の調整をおこないます。

- 光量不足の場合は、シャッター速度を 1/60 秒または 1/60 秒以下に調整します。  
※調整は Web 管理画面 ([ 画像調節 ] パネル) でおこないます。



シャッター速度 調整無し



シャッター速度 1/60 秒  
または 1/60 秒未満に調整

- 逆光の場合は、明るさを調整します。  
(HDR は無効の状態)



HDR 無効



HDR 無効 + 明るさ調整

- ※ HDR を有効にしても被写体が暗い場合は、HDR を有効にして、明るさを調整します。



HDR 有効



HDR 有効 + 明るさ調整

## ナイトモード + IR LED

本製品は、暗い環境では自動的に (内蔵 IR LED をオンにすることで) ナイトモードに切り替わります。  
※この場合、光源の違いにより類似性予測の結果が低下します。

認識の精度を高く保つために、下記の調整をおこないます。

- 光源を追加する。
- 画像を IR モードで登録する。(類似性予測の結果を向上させます。)



- 外部赤外線チューブライトを追加する。

外部赤外線チューブライトで赤外光を追加すると、類似性予測の結果は正常に戻る可能性があります。

推奨する赤外線チューブライトのタイプ: T8 IR LED チューブライト (850 / 940nm; 140度; 2/4 フィート)

# 準備



# 接続・設置方法

## STEP 1 本製品を接続する

本製品の接続方法は、パソコンと単独で接続する方法と、IP カメラシステムのネットワークレコーダー（別売品）を接続する方法の大きく 2 通りあります。

### 接続前の本体の準備

#### ● 静電気の除去

本製品に触れる前には必ずアース等に触れて静電気を除去してください。

#### ● 必要な周辺機器やケーブルなどを準備の上、システム機器の電源は切ってください。

### 本製品とパソコンを接続する

#### 1 本製品の設置工事を始める前に、本製品を PoE 対応 LAN ケーブルとスイッチングハブを介してパソコンに接続します。

※パソコンの IP アドレスを「192.168.1.xxx（168 以外の任意の値）」で固定してください。

#### 2 本製品の初期 IP アドレスは「192.168.1.168」です。

#### 3 Web ブラウザ（Google Chrom または、Microsoft Edge）を立ち上げ、初期 IP アドレス「192.168.1.168」を入力し、本製品の Web 管理画面にログインします。

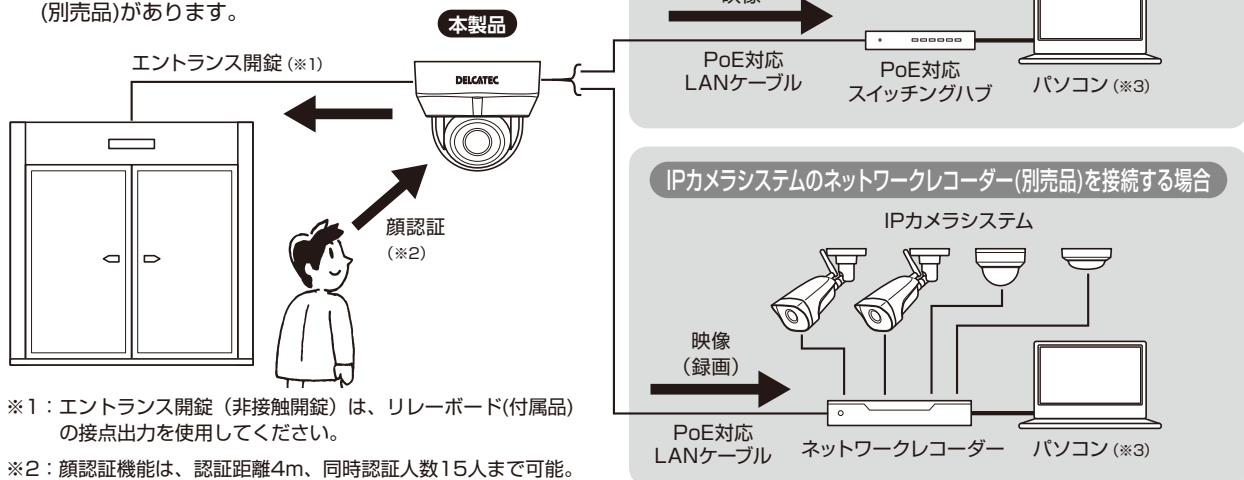
#### 4 本製品を IP カメラシステムのネットワークレコーダー（別売品）と接続してご利用の場合、以下の設定を行ってください。

#### 重要

- IP アドレスを DHCP または固定 IP アドレスを選択し、ネットワークレコーダー NIC PoE IP アドレスと同じセグメントに設定して下さい。→詳しくは P.53 参照してください。
- ビデオ設定>ストリーム>ストリーム 02 >コーデックが「H264」となっていることを確認してください。
- ストリーム 02 のコーデックが「H264」以外の場合、IP カメラシステムのネットワークレコーダー（別売品）と接続時にライブ映像が正しく表示されないことがあります。→ P.26 の「コーデック」を参照してください。

### ■ 接続例

接続方法は大きく2通り、パソコンとカメラ単体または、パソコンとIPカメラシステムのネットワークレコーダー（別売品）があります。



※1：エントランス開錠（非接触開錠）は、リレーボード(付属品)の接点出力を使用してください。

※2：顔認証機能は、認証距離4m、同時認証人数15人まで可能。顔認証率 97.6% (NIST調べ)

※3：本製品の設定は接続したパソコンからWeb管理画面を介しておこないます。

**重要** オーディオケーブルを使用する場合、コネクタのゆるみ防止としてテープを巻くなどの処置をしてください。



#### カメラ単独で使用する場合は

カメラ単独で接続する場合は、別途 PoE 対応スイッチングハブ等の機器が必要です。

#### PoE 対応スイッチングハブについて

- PoE 対応スイッチングハブに PoE 対応 LAN ケーブルをすばやく抜き差しすると、本製品に電源が供給されない場合があります。再接続する際には 2 秒以上間隔を空けてください。
- PoE 電源容量は製品の最大電力値※を確保してください。
- ELECOM 製品の PoE 対応スイッチングハブ (EHB-UG2B08-PL2) で動作を確認しています。PoE 対応スイッチングハブにはこの製品か、同等の電力を供給できる製品をご利用ください。

※本製品の最大電力値は、10W です。

## 本製品と IP カメラシステムのネットワークレコーダー (別売品) を接続する場合

- ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合も、必ず先に Web 管理画面から設定を行う必要があります。➡詳しくは P. 9 の「重要」参照してください。

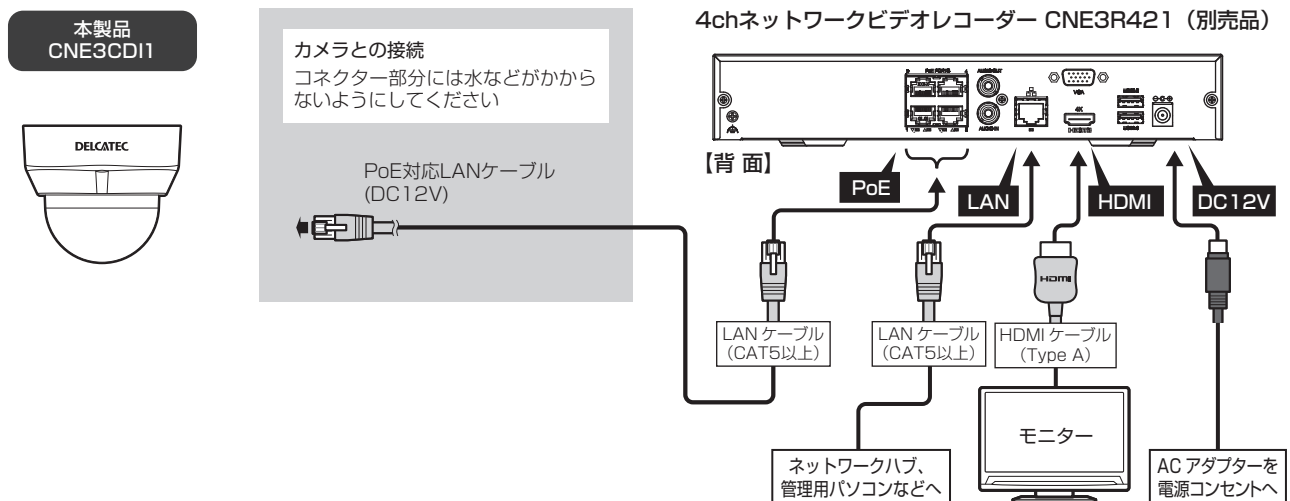
- 1 本製品の設置工事を始める前に、本製品とネットワークレコーダー (DX アンテナ製 CNE3R シリーズ) を PoE 対応 LAN ケーブルを介して接続します。

※パソコンとネットワークレコーダーを接続する前に、パソコンをネットワーク設定から、レコーダー側 IP アドレスのセグメントに合った IP アドレスに変更してください。

- 2 ネットワークレコーダーの Web 管理画面から本製品の Web 管理画面にログインします。

※ Web 管理画面の詳細は、CNE3R シリーズの詳細マニュアル (下記 URL) をご覧ください。

<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/CNE3R.pdf>



## STEP2 設置する

### 設置の前に

本製品を取り付ける前に以下の内容について確認してください。

(別紙、取扱説明書の「安全上のご注意」の内容も必ずお読みください)

- 本製品の総重量や振動、付随する部品の総重量などに十分に耐えられる強度がある場所を確保してください。やむを得ず強度が不十分な場所へ取り付ける場合は十分な補強を施してください。
- PoE 対応 LAN ケーブルなど必要なケーブルをカメラ設置場所まで配線します。  
壁や天井などに取り付ける場合
  - ・ 本製品を取り付けた後のレンズの向きを確認してください。
  - ・ 万が一本製品が落下した際に害がない位置に取り付けられるかを確認してください。
  - ・ 安定した位置に本製品の固定ネジが取り付けられるかを確認してください。
  - ・ 金属または木製のボード (例えばモルタルや石膏ボード) については十分な補強を施して設置してください。

#### 重要

- けが防止のため、必ず手袋を着用して作業を行ってください。
- microSD カードに録画する場合は、本体を設置する前に microSD カードをセットしてください。
- ネジ類は必ず添付のものを使用してください。

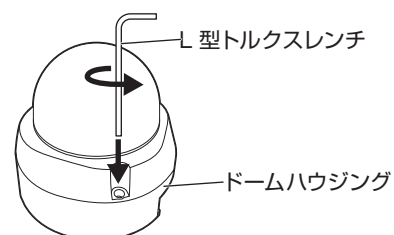
### microSD カードをセットする

microSD カードは本体を設置する前にセットしてください。

- 本製品は microSD カードのホットスワップに対応していません。
- microSD カードを交換する場合は、いったん本製品から PoE 対応 LAN ケーブルをはずして電源を切ったうえで交換してください。
- 交換後は、もう一度 PoE 対応 LAN ケーブルを接続して本製品の起動を確認してから、管理画面上で microSD カードのフォーマットを実行してください。➡ P.63 の「SD カードの設定」を参照してください。

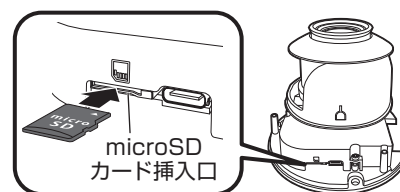
- 1 付属の L 型トルクスレンチで右図位置の 3 本のネジを緩めて本体からドームハウジングをはずします。

※ ネジはドームハウジングからはずれません。



- 2 microSD カードを右図の向きで挿入します。

- 3 ドームハウジングを取り付けてネジで固定します。



#### 重要

フタのネジはきつく締めすぎないようにご注意ください。電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。

# 本製品を天井に固定する

はじめに

準備

運用・設定

その他

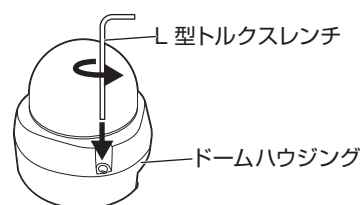
**重要** 本製品を設置するには以下の内容に注意してください。  
設置にあたり、危険な状態が予想される場合は、ただちに作業を中止し、必ず安全を優先した対応を行ってください。

- 故障の原因となるため、本製品のドームハウジングをはずした際や設置の際は、静電気に十分注意してください。
- 本製品に酸性やアルカリ性の液体が付着しないよう注意してください。付着した場合は、速やかにふき取ってください。
- ほこりが付着した際は、眼鏡ふきのような柔らかい布でレンズに傷をつけないように注意してふき取ってください。
- ドームハウジングの保護ビニールは、指紋などの付着防止のために、設置完了までつけたままにしてください。
- 本製品を設置するときには、地面や床に落下しないようにしてください。落下させると破損や故障の原因になります。また設置作業に必要な場所の確保をしてください。

## 1 ドームハウジングをはずします。

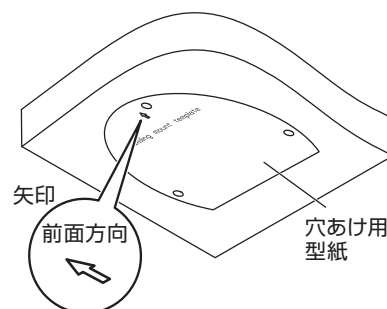
本製品を設置するにはドームハウジングを開ける必要があります。付属のL型トルクスレンチで右図位置の3本のネジを緩めて本体からドームハウジングをはずします。

※ネジはドームハウジングからはずれません。

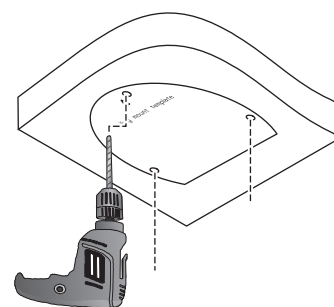


## 2 本製品を取り付ける位置を決め、穴あけ用型紙を天井に貼り付けます。本製品に接続する PoE 対応 LAN ケーブルの位置に合わせて穴をあけ、PoE 対応 LAN ケーブルを通します。

※穴あけ用型紙の矢印の向き（右図）とレンズユニット部の前面方向を合わせて取り付ける方向を決めてください。



## 3 穴あけ用型紙の穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴をあけます。



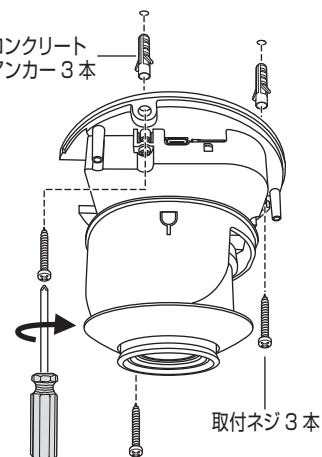
## 4 コンクリートアンカー3本をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。



## 5 本製品を取り付けます。

天井と本製品のLANケーブル他、すべてのケーブルを接続し、ガイド穴に合わせて取付ネジ3本をドライバーで締めつけて、本製品を取り付けます。

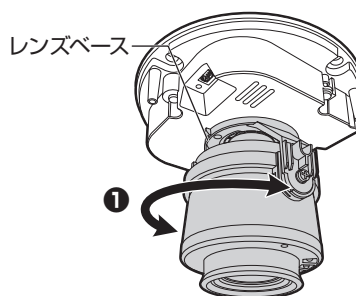
※必要に応じてベースの切り欠きに PoE 対応 LAN ケーブルを通して配線してください。



## 6 レンズの方向を調整します。

レンズの方向を調整する前に、レンズユニットからパッドとレンズユニットカバーを取りはずします。

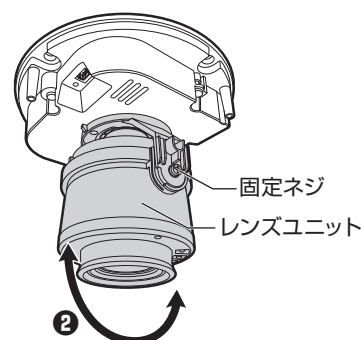
水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます (①)。



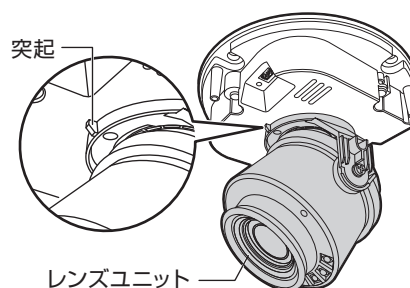
垂直方向に調整する場合は、左右の固定ネジを少し緩め、レンズユニット部の角度を調整します (②)。

調整後、緩めた固定ネジを締め付けてください。

固定ネジはきつく締めすぎないようにご注意ください。電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。



レンズユニット部の右図位置にある突起が映像の上方向になります。



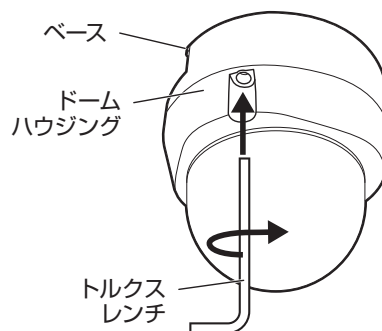
## 7 本体後面に PoE 対応 LAN ケーブルを接続し、電源を入れます。

画像を確認の上、角度や方向等を調整してください。


## 8 ドームハウジングを元通りに取り付けます。

レンズユニットにパッドとレンズユニットカバーを取り付けてから、ドームハウジングとベースのネジ穴の位置を合わせ、ドームハウジングのネジ3本を締めて固定します。

(※接続したケーブルを挟まないようご注意ください。)



# 運用・設定—画面について

-  ●各設定画面等においては、設定後に「適用」をクリックしなければ設定が反映されません。設定を完了する際は、必ず最後に「適用」をクリックしてください。

# ログイン画面(初回)

- 1 初回ログイン時は、画面表示の言語を選択します。(※初回は、P.9の「本製品とパソコンを接続する場合」を参照のうえでログインしてください。)

## 言語選択画面

番号	項目	内容
①	言語選択	画面に表示する言語を選択します。

- 2 続いて、管理者アカウントを作成し、パスワードを設定します。

## 管理者アカウント作成、パスワード設定画面

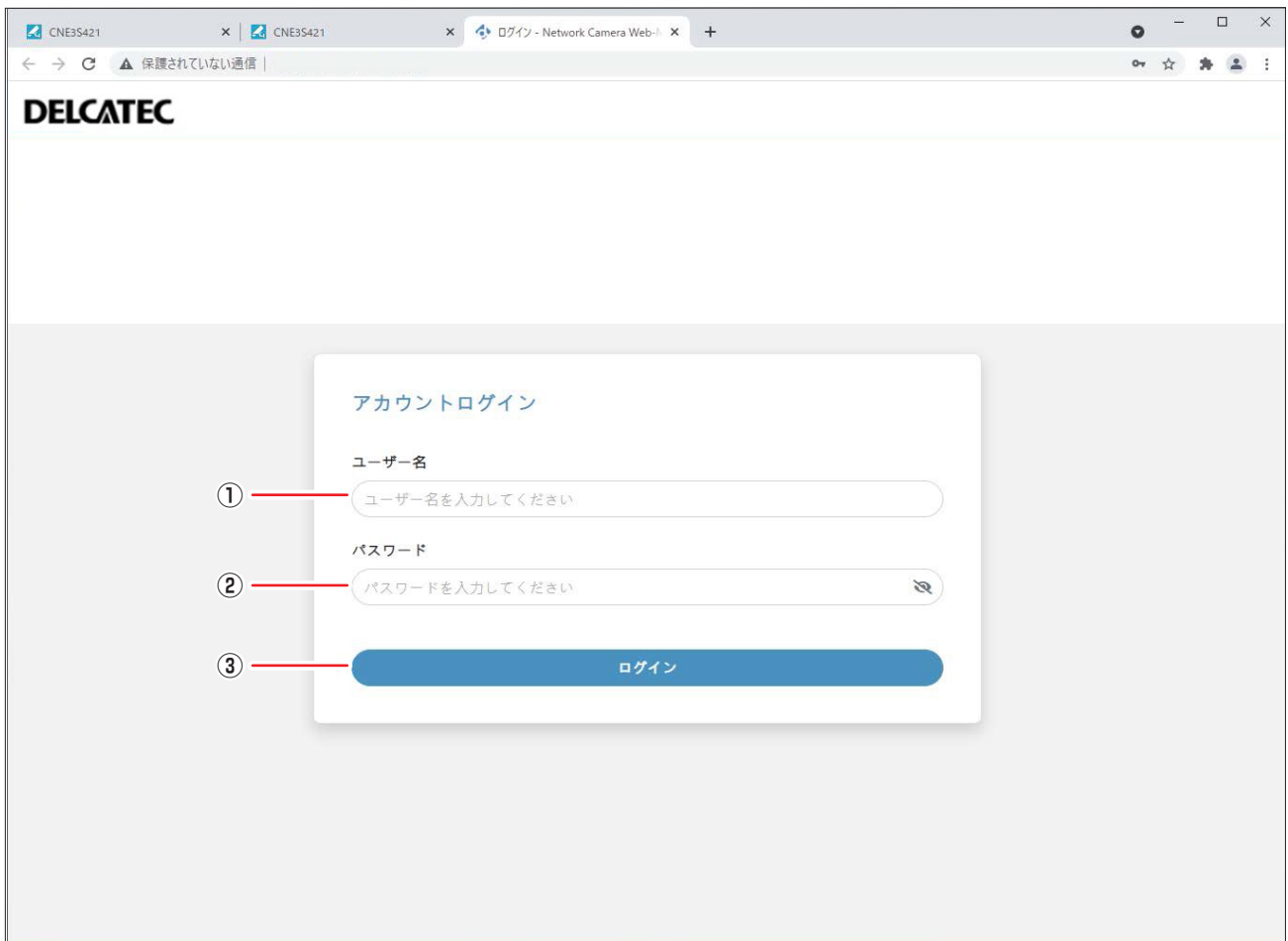
番号	項目	内容
②	権限	初回アカウント作成時は、管理者から変更することはできません。
③	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
④	パスワード、パスワード確認	パスワード（初期設定時に定義したもの）を入力します。
⑤	決定	ログイン情報の設定を決定します。

# ログイン画面(本製品とパソコンを接続する場合)

- 1 Web ブラウザ (Google Chrom または、Microsoft Edge) を立ち上げ、本製品の初期 IP アドレス「192.168.1.168」を入力し、Web 管理画面に接続します。



- 2 Web 管理画面が表示されたら、初期のパスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押します。



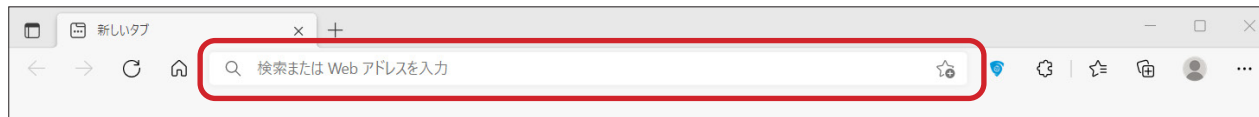
## ログイン画面

番号	項目	内容
①	ユーザー名	接続した本製品の名称が表示されます。
②	パスワード	入力欄にパスワード (初期設定時に定義したもの) を入力します。
③	ログイン	[ログイン] ボタンを押して本製品の Web 管理画面を表示します。

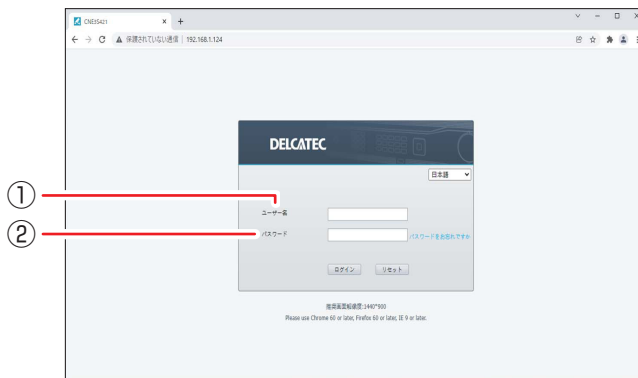


# ログイン画面 (IPカメラシステムのネットワークレコーダー(別売品)を接続する場合)

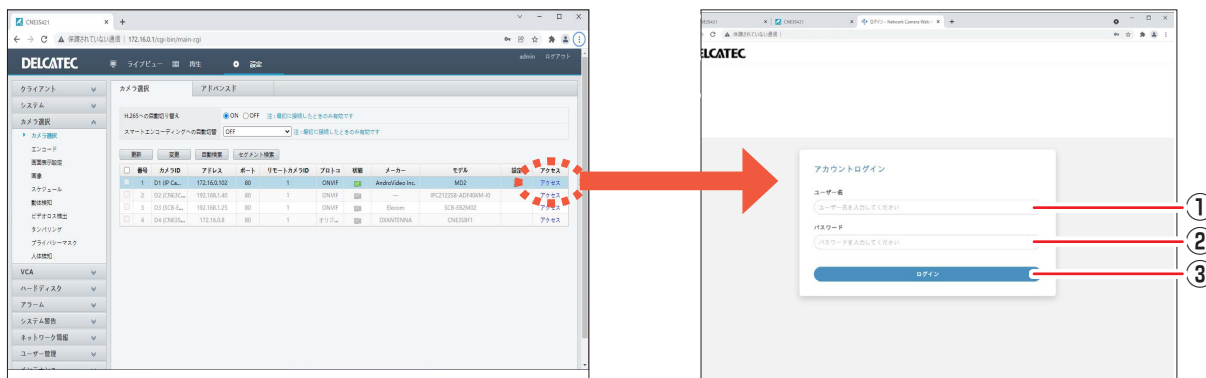
- 1 Web ブラウザ(Google Chrom または、Microsoft Edge)を立ち上げ、ネットワークレコーダーの IP アドレスを入力し、Web 管理画面に接続します。(※初回は、「P.10 本製品と IP カメラシステムのネットワークレコーダー(別売品)を接続する場合」をご参照ください。)



- 2 レコーダーの Web 管理画面が表示されたら、初期のパスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押します。



- 3 [設定] 画面に切り替えて、[カメラ選択] → [アクセス] を押し、本製品の Web 管理画面が表示されたら、初期のパスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押します。



## レコーダーのログイン画面

番号	項目	内容
①	ユーザー名	接続したデバイスの名称が表示されます。
②	パスワード	入力欄にパスワード(初期設定時に定義したもの)を入力します。
③	ログイン	[ログイン] ボタンを押してレコーダーの Web 管理画面を表示します。

# ホーム画面

はじめに

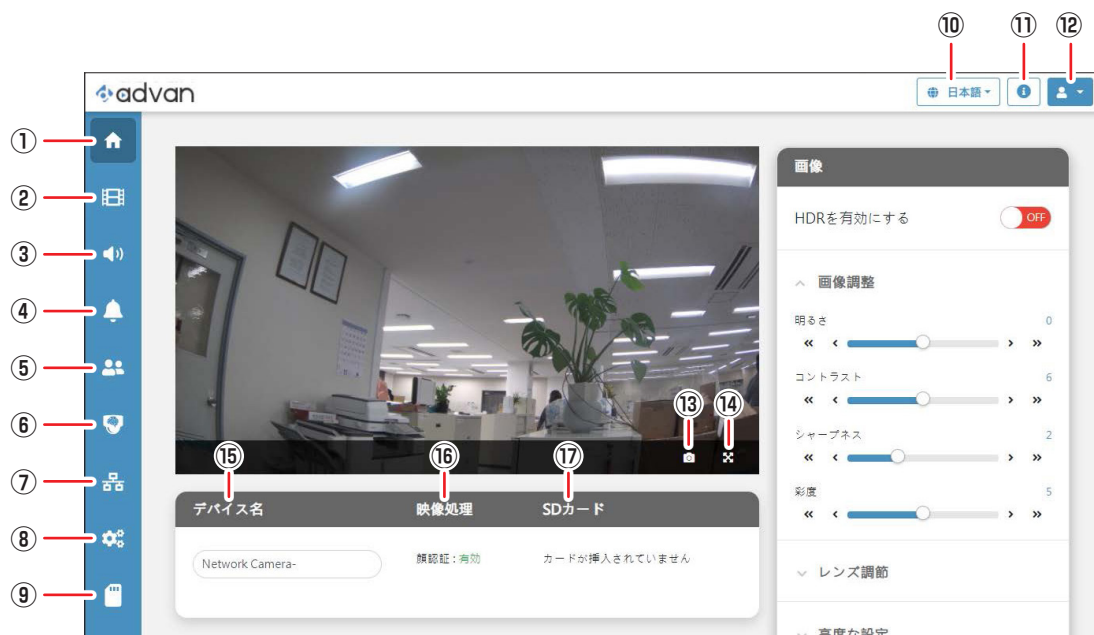
準備

運用・設定

その他



ホーム画面には、メインメニュー、ライブビュー、ステータス、画像調整 などが表示されます。



## ホーム画面

	番号	項目	内容
メインメニュー	①	ホーム	画像調整、レンズ調整、高度な設定 ができます。
	②	ビデオ	ストリーミング、RTSP、HDMI、OSD、プライバシーマスク を設定します。
	③	オーディオ	音声入力を有効に設定します。
	④	通知	通知方法、スマート通知 を設定します。
	⑤	ユーザー管理	メンバー、アカウント、イベント を設定します。
	⑥	映像処理	顔認証、モーション検出、ライセンス を設定します。
	⑦	ネットワーク	ネットワーク、TCP/IP、HTTPS を設定します。
	⑧	システム	日付時刻、デバイスのメンテナンス、ソフトウェアの更新、システムログ、情報 を設定します。
	⑨	SD カード	SD カードの構成 を設定します。
ツールバー	⑩	言語	英語、中国語、日本語 を選択します。
	⑪	デバイス情報	モデル名、ソフトウェアバージョン、シリアル番号、MAC アドレス を選択します。
	⑫	アカウント	管理者、admin、ログアウト を選択します。
ライブビュー	⑬	スナップショット	カメラ映像のスナップショット を撮影します。
	⑭	全画面表示	カメラ映像 を全画面で表示します。 ESC キーを押すと元の画面に戻ります。
ステータス	⑮	デバイス名	現在接続中の機器名を表示します。
	⑯	映像処理	顔認証が有効かを表示します。
	⑰	SD カード	SD カードが挿入されているかを表示します。

# 顔認証する写真の登録

<ご注意> 顔写真を登録する前に、予めレンズの調整をおこなってください。  
詳細は P.24 の「レンズを調整する」を参照してください。

1  [ユーザー管理] を選択します。

2 サブメニューの [グループ +] を押して下記を設定します。  
① [グループを追加する] 画面で任意のグループ名や備考を入力。  
② [新規] ボタンを押して追加。



3 画面右上の [+新規] を押して [メンバーの新規追加] または、[イベントからメンバーの追加] を選択します。



4 [メンバーの新規追加] を選択した場合、下記を設定します。

- ① [メイン写真] をクリックしてパソコン内の任意のフォルダーから顔写真を選択し登録。  
※ 顔写真として登録できる画像形式は JPEG/JPG/BMP/PNG です。  
※ 他に 4 枚の顔写真が同様に登録できます。  
※ [写真編集] 画面で顔写真を編集 (移動、トリミング、左右回転、拡大縮小) します。
- ② [名前] [組織名] を入力。
- ③ [グループ] は 2 で追加したグループを選択。
- ④ [備考] を入力。
- ⑤ [新規] ボタンを押して追加。



## 5 【イベントからメンバーの追加】を選択した場合、下記イベント管理画面が表示されます。

- 録画されたイベントの「追加」を押すと、選択肢「メンバーの新規追加」、「既存のメンバーに追加」が表示されるので、「メンバーの新規追加」を選択し、さらにポップアップ画面の「新規」を押して顔写真を登録します。

※登録については4をご覧ください。

The screenshot shows the 'イベント' (Event) management page. At the top, there are filters for '開始日時' (Start Date/Time) and '終了日時' (End Date/Time), a search bar for 'キーワードを入力' (Enter keyword), and a 'レポートのダウンロード' (Download Report) button. Below this is a table with columns: '日時' (Date/Time), 'キャプチャー' (Capture), '登録写真' (Registered Photo), '名前' (Name), 'グループ' (Group), '組織' (Organization), '相似性' (Similarity), '認証結果' (Authentication Result), '備考' (Remarks), and '操作' (Action). The table lists several events from 2021/11/18. The '操作' column for the second event has a red dashed circle around the '追加' (Add) button. A modal titled 'メンバーを追加する' (Add Member) is open, showing a 'メイン写真' (Main Photo) and four '写真1' through '写真4' (Photo 1-4) slots. Below the photo slots are input fields for '名前' (Name), '組織' (Organization), 'グループ' (Group), and '備考' (Remarks). At the bottom of the modal, there are two buttons: '新規' (New) and '閉じる' (Close), with a red dashed circle around the '新規' button.

# 顔認証と動体検知の設定

1  [映像処理] を選択します。

2 顔認証の設定をします。

[顔認証] メニューを選択して下記を設定します。

- ① [顔認証を有効にする] で [ON] [OFF] を選択します。  
[顔認証を有効にする] で [ON] を選択した場合
- ② [認証レベル] で [低] [中] [高] を選択します。
- ③ [検知領域] をマウスドラッグで選択します。
- ④ [最小検知顔サイズフィルターを有効にする] で [ON] [OFF] を選択します。
- ⑤ [ライブ画面表示] で [メンバー名] [グループ] [未登録者] を選択します。  
(※選択した項目が表示されます。)
- ⑥ [適用] ボタンを押して設定を保存します。



3 動体検知の設定をします。

[動体検知] メニューを選択して下記を設定します。

- ① [動体検知を有効にする] で [ON] [OFF] を選択します。  
[動体検知を有効にする] で [ON] を選択した場合
- ② [感度] をスライダーで調整します。
- ③ [検知領域] をマウスドラッグで選択します。
- ④ [適用] ボタンを押して設定を保存します。



# メールと I/O 通知の設定

1  [通知] を選択します。

2 メールで通知する場合の設定をします。

[メール] メニューを選択して下記を設定します。

① [メール通知を有効にする] で [ON] [OFF] を選択します。

[メール通知を有効にする] で [ON] を選択した場合

② [SMTP サーバーアドレス] を入力する。

③ [カメラログイン通知を有効にする] で [ON] [OFF] を選択する。

④ [差出人名] を入力する。

⑤ [差出人メールアドレス] を入力する。

⑥ [通知間隔 (秒)] を 5 ~ 1800 秒の間で設定する。

⑦ [適用] ボタンを押して設定を保存します。



3 I/O 通知する場合のデジタル入力、出力 1、2 の設定をします。

[I/O] メニューを選択して、[デジタル入力およびデジタル出力] で下記を設定します。

・ デジタル入力：入力の [ON] [OFF] 選択や [ON] にした場合の通常の状態を選択します。

・ デジタル出力 1、2：出力 1、2 の [ON] [OFF] 選択や [ON] にした場合の通常の状態を選択、出力タイプ、パルス時間 (秒)、出力間隔 (秒) を設定します。

※設定の詳細については、➡ P.34 ~ P.35 を参照してください。

# 画像とレンズを調整する

## 画像を調整する



ホーム画面で画像調整をします。



### 画像調整

番号	項目	内容
①	HDR を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。 明暗差の大きい画像を補正します。
②	明るさ	-12 ~ 12 までスライダーで調整します。 値を大きくすると映像が明るくなります。
③	コントラスト	1 ~ 11 までスライダーで調整します。 値を大きくするとコントラストが強くなります。
④	シャープネス	0 ~ 6 までスライダーで調整します。 値を大きくすると輪郭がくっきりします。
⑤	彩度	0 ~ 10 までスライダーで調整します。 値を大きくすると彩度が高くなります。

# レンズを調節する



ホーム画面で基本的なレンズ調節をします。



## レンズ調節

番号	項目	内容
①	フルレンジ	[フルレンジ] [ショートレンジ] から選択します。 フルレンジは、フォーカス調整が全域でおこなえます。
②	ショートレンジ	ショートレンジは、近い距離でフォーカス調整が動きます。 フォーカスが合いにくい場合は、ショートレンジで調整すると微調整できます。
③	フォーカス	スライダーで調整します。
④	ズーム	スライダーで調整します。
⑤	ズーム調整するとき、 自動フォーカス	ズーム調整する時に、自動フォーカスする場合、チェックします。
⑥	アイリス	[自動] [最大] から選択します。 アイリスは、カメラレンズを通す光の量を調節して、適切な明るさで撮影する機能です。 [自動]…動作環境の明るさによって、自動で光量を調節します。 [最大]…絞りがオープンになり、常に最大量の光がレンズから取り入れられます。
⑦	シャッタースピード	[自動] [1/30] [1/50] [1/60] [1/100] [1/125] [1/500] [1/1,000] [1/2,000] [1/4,000] [1/8,000] から選択します。



# 高度な設定



ホーム画面でレンズの高度な設定をします。



## 高度な設定

番号	項目	内容
①	ホワイトバランス	[自動] [屋外] [蛍光照明] [白熱照明] [手動調整] から選択します。
②	IR 設定	[自動] [ON] [OFF] から選択します。
③	デイナイト機能	[自動] [昼間モード] [夜間モード] [時間帯を設定する] から選択し、「自動」設定時はスライダーで感度を調整します。
④	映像方向	[標準] [上下反転] [左右反転] [180度回転] から選択します。
⑤	フォグ緩和	霧や雨によるカメラ映像への影響を緩和します。[ON] [無効]から選択します。
⑥	電源周波数 (Hz)	ちらつき防止のため、[自動] [50Hz] [60Hz] から周波数を選択します。
⑦	リセットしてデフォルト設定へ戻す	[リセット] ボタンを押して[HDR を有効にする] [画像調整] [レンズ調節] [高度な設定] をデフォルト状態に戻します。

# ビデオを設定する

はじめに

準備

運用・設定

その他

## ストリームの設定



ビデオ設定でストリーミングの設定をします。

ストリーム 01、ストリーム 02 を切り替えて、個々に設定できます。

ストリーム 01 : H265/H264 対応 (デフォルトは H264)、ストリーム 02 : H264 /MJPEG 対応

ストリーム

ストリーム 01    ストリーム 02

① コーデック  
H264

② 解像度  
3840\*2160 (16:9)

③ フレームレート (FPS)  
30

④ ビットレート制御  
最大ビットレート 8192 Kbps  
1 - 65536 Kbps

⑤ GOP  
60

⑥ 適用

### ストリーム

番号	項目	内容
①	コーデック	ストリーム 01 では、[ H265 ] [ H264 ] から選択します。(デフォルトは H264) ストリーム 02 では、[ H264 ] [ MJPEG ] [ OFF ] から選択します。(デフォルトは MJPEG) ※ 1
②	解像度	ストリーム 01 では、コーデックに関係なく解像度を [ 3840 × 2160(16:9) ] [ 2560 × 1440(16:9) ] [ 1920 × 1080(16:9) ] [ 1280 × 720(16:9) ] [ 2560 × 1920(4:3) ] [ 2048 × 1536(4:3) ] [ 1600 × 1200(4:3) ] [ 1280 × 960(4:3) ] から選択します。 ストリーム 02 では、コーデックを [ MJPEG ] にすると解像度は [ 1920 × 1080(16:9) ] [ 1280 × 720(16:9) ] から選択します。 コーデックを [ H264 ] にすると解像度は [ 1280 × 720(16:9) ] [ 640 × 360(16:9) ] から選択します。
③	フレームレート(FPS)	ストリーム 01 では、[ 5 ~ 30 ]    ストリーム 02 では、[ 5 ~ 15 ] から選択します。
④	ビットレート制御 ※ 2	[ 最大ビットレート ] [ 可変ビットレート ] [ 固定ビットレート ] から選択し、1 ~ 65536Kbps の範囲内で値を入力します。([ 最大ビットレート ] は入力した値を超えないようにします。[ 可変ビットレート ] は自動なので入力不要)
⑤	GOP ※ 2	[ 8 ] [ 15 ] [ 30 ] [ 60 ] [ 90 ] [ 120 ] から画像のグループを選択します。
⑥	適用	[ 適用 ] ボタンを押して設定を保存します。

※ 1: ストリーム 02 のコーデックが [ H264 ] となっていることを確認してください。ストリーム 02 のコーデック設定が [ H264 ] 以外の場合、IP カメラシステムのネットワークレコーダー (別売品) を接続時にライブ映像が正しく表示されないことがあります。

※ 2: ストリーム 02 では、コーデックを [ MJPEG ] にすると [ 品質 ] が表示され、[ 高 ] [ 中 ] [ 低 ] から選択します。([ ビットレート ] [ GOP ] は表示されません)

# RTSP の設定



ビデオ設定で RTSP ポートや音声有無の設定をします。

RTSP

RTSPでのオーディオ出力を有効にする  ①

アカウント認証を有効にする  ②

RTSP/TCPポート  
③ 8554  
入力範囲：1024-65535 デフォルト：8554

RTSP/UDPポート  
④ 17300  
入力範囲：1024-65535 デフォルト：17300

最大同時接続クライアント数  
⑤ 8  
1 - 8

⑥ 適用

## RTSP

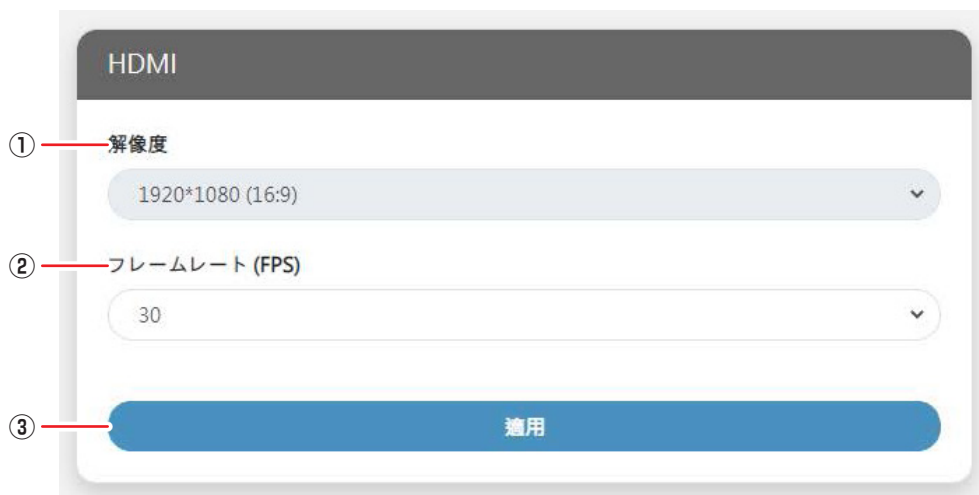
番号	項目	内容
①	RTSP でのオーディオ出力を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
②	アカウント認証を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
③	RTSP/TCPポート	1024 ~ 65535 を入力します。デフォルト値は 8554 です。
④	RTSP/UDP ポート	1024 ~ 65535 を入力します。デフォルト値は 17300 です。
⑤	最大同時接続クライアント数	1 ~ 8 を入力します。デフォルト値は 8 です。
⑥	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# HDMI の設定



ビデオ設定で HDMI 出力の設定をします。

本製品とパソコン用モニターを市販の microHDMI ケーブルで接続することにより、モニターにライブ映像を表示させることができます。



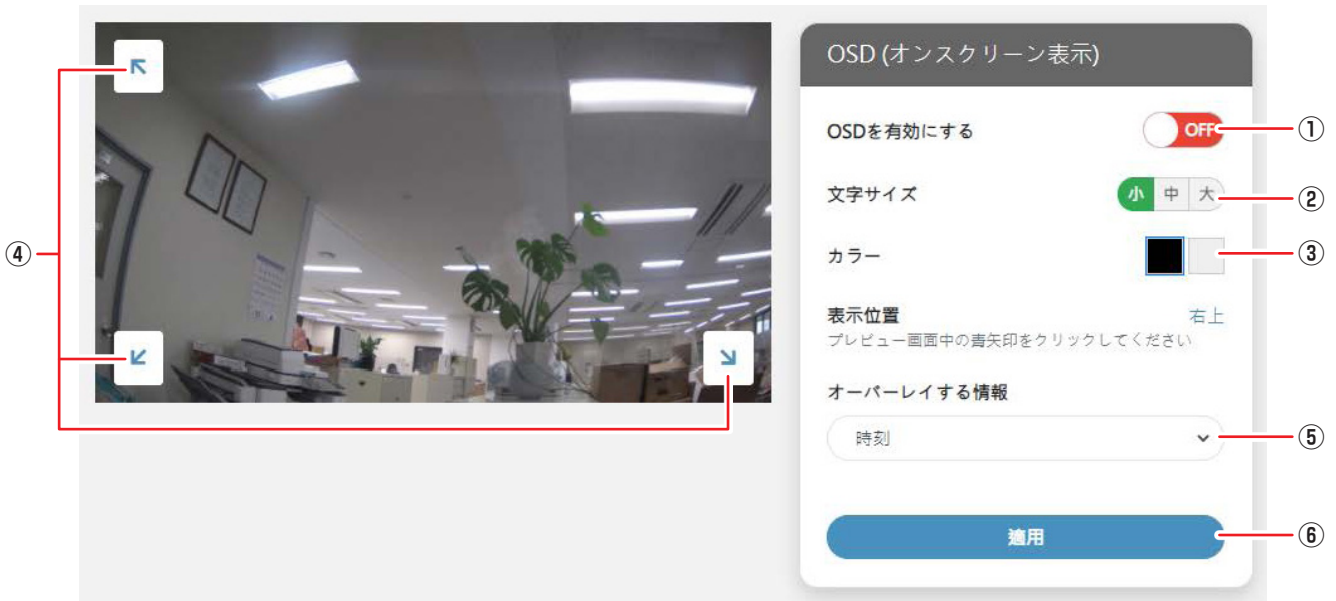
## HDMI

番号	項目	内容
①	解像度	[1920 × 1080(16:9)] で固定です。
②	フレームレート (FPS)	[ 5 ~ 30 ] から選択します。
③	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# OSD の設定



ビデオ設定で OSD の設定をします。



## OSD (画面表示)

番号	項目	内容
①	OSD を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
②	文字サイズ	[小] [中] [大] から選択します。
③	カラー	[黒] [白] から選択します。
④	表示位置	プレビュー画面中の青矢印をクリックして表示位置を移動します。
⑤	オーバーレイする情報	[時刻] [デバイス名] [デバイス名と時刻] [任意の文字列] から選択します。
⑥	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# プライバシーマスクの設定

はじめに

準備

運用・設定

その他



ビデオ設定でプライバシーマスクの設定をします。

## プライバシーマスク

番号	項目	内容
①	プライバシーマスクを有効にする	[ON] [OFF] を選択します。 [ON] を選択し次の操作でプレビュー画面にマスク領域を追加します。 ・マスク領域を追加する⇒カーソルでドラッグ ・マスク領域を削除する⇒ Backspace キーまたは、Delete キー ・マスクは最大四ヶ所まで設定可能です。
②	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# オーディオを設定する

## オーディオの設定



オーディオ設定で、接続したオーディオ入力（外部マイク）を有効にします。

- <ご注意>
- ・オーディオ端子からは給電できないため、外部マイクは外部電源の接続が必要です。
  - ・オーディオ入力を有効にした場合、音声はストリーミング映像でのみ聞くことができます。詳細設定については、弊社ホームページをご参照ください。  
[https://qa.dxantenna.co.jp/faq\\_detail.html?id=1015](https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=1015)
  - ・SDカードやネットワークレコーダーに録画した映像に音声は記録されません。



### オーディオ設定

番号	項目	内容
①	オーディオ入力を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
②	オーディオ品質	圧縮フォーマットは、G.711, 8kHz, 64kbps, Mono です。(固定)
③	入力ソース	入力ソースは、外付けマイクが表示されます。(固定)
④	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# 通知方法を設定する

はじめに

準備

運用・設定

その他

## メールの通知方法の設定



通知設定でメールの通知方法を設定します。

メール

メール送信を有効にします  OFF ①

② SMTPサーバーアドレス  
サーバーアドレスを入力してください

③ SMTPサーバーログイン設定 編集

④ カメラログイン通知を有効にする

差出人名

⑤ 差出人の名前を入力してください

差出人メールアドレス

⑥ 差出人のメールアドレスを入力してください

通知間隔 (秒)

⑦ 5  
5 - 1800 秒

⑧ 適用

SMTPサーバーログイン設定

アカウント  
アカウントを入力してください

パスワード  
パスワードを入力してください

ポート  
 25  465  587  2525

暗号化方式  
 なし  SSL  TLS

適用

閉じる

### メール

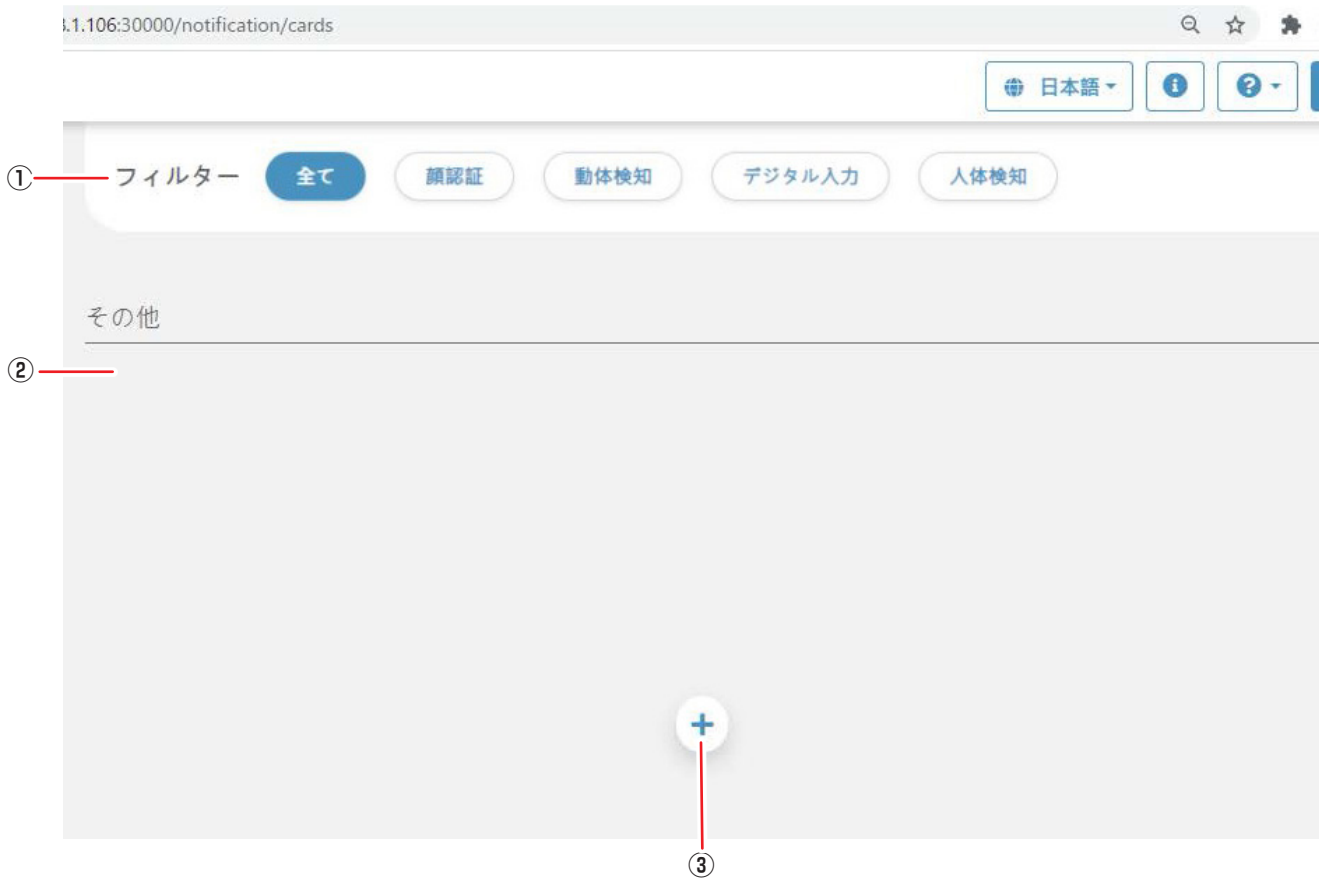
番号	項目	内容
①	メール送信を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。[ON] を選択した場合、②～⑦が設定できます。
②	SMTPサーバーアドレス	SMTPサーバーアドレスを入力します。
③	SMTPサーバーログイン設定	SMTPサーバーログイン設定からポップアップ画面を表示し、下記の設定をおこないます。 ・[アカウント] [パスワード] を入力します。 ・ポートを [25] [465] [587] [2525] から選択します。 ・暗号化方式を [なし] [SSL] [TLS] から選択します。 ・[適用] ボタンを押して設定を保存します。 ・[閉じる] ボタンでポップアップ画面を閉じます。
④	カメラログイン通知を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
⑤	差出人名	差出人の名前を入力します。
⑥	差出人メールアドレス	差出人のメールアドレスを入力します。
⑦	通知間隔 (秒)	5 ~ 1800 から秒数を選択します。
⑧	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。



# 通知カードの確認と追加



通知設定のスマート通知画面で現在の通知カードを表示します。



## スマート通知（メイン画面）

番号	項目	内容
①	フィルターメニュー	[すべて] [顔認証] [動体検知] [デジタル入力] [人体検知] から選択します。
②	その他	登録した通知カードが表示されます。
③	+	⊕ボタンを押して新規通知カードを作成します。

# I/O の通知方法の設定 1



通知設定で I/O 入力の設定します。

①の [デジタル入力] タブで、N/C、N/O を設定できます。



## デジタル入力およびデジタル出力 (デジタル入力)

番号	項目	内容
①	デジタル入力タブ	デジタル入力の設定画面に切り替わります。
②	デジタル入力を有効にする※	[ON] [OFF] を選択します。
③	通常の状態	[N/O (ノーマリーオープン)] [N/C (ノーマリークローズ)] から選択します。
④	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

※<ご注意>デジタル入力、出力 1、出力 2 は、いずれか 1 つのみ有効にしてください。

## I/O の通知方法の設定 2



通知設定で I/O 出力の設定します。

①の [デジタル出力 1] タブおよび、[デジタル出力 2] タブで、接続したリレーや LED シグナルなどの外部デバイスを電気信号で制御できます。



### デジタル入力およびデジタル出力 (デジタル出力 1、出力 2)

番号	項目	内容
①	デジタル出力 1、出力 2 ※	デジタル出力 1 および、出力 2 の設定画面に切り替わります。
②	デジタル出力1を有効にする (出力 2 も同様) ※	[ON] [OFF] を選択します。
③	通常の状態	接点状態を [N/O (ノーマリーオープン)] [N/C (ノーマリークローズ)] から選択します。
④	出力タイプ	出力信号タイプを [ノーマル] [バッファ] から選択します。
⑤	パルス時間 (秒)	バッファ出力を 1 ~ 80 から選択します。
⑥	出力間隔 (秒)	出力間の遅延秒数を 10 ~ 1800 から選択します。
⑦	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

※<ご注意>デジタル入力、出力 1、出力 2 は、いずれか 1 つのみ有効にしてください。

# スマート通知のスケジュール設定



通知設定でスマート通知のスケジュールを設定します。

② の [スケジュール] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



## スマート通知 (スケジュール)

番号	項目	内容
①	通知カード名称を入力	新しい通知カードの名称を入力し保存します。
②	スケジュールタブ	スケジュールの設定画面に切り替わります。 (スケジュールは5つまで登録できます。)
③	プルダウンメニュー	[顔認証] [動体検知] [デジタル入力] から選択できます。
④	スケジュールを有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
⑤	繰り返し	[日] [月] [火] [水] [木] [金] [土] を選択します。
⑥	開始日時	[開始日時] を設定します。
⑦	終了日時	[終了日時] を設定します。
⑧	+	⊕ボタンを押して新規通知カードを作成します。
⑨	追加	[追加] ボタンを押して通知カードを保存します。
⑩	キャンセル	[キャンセル] ボタンを押して通知カードの設定を取り消します。 (※スケジュール、ルール、通知方法で設定した全ての内容を取り消します。)

# スマート通知のルール設定



通知設定でスマート通知のルールを設定します。

② の [ルール] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



## スマート通知（ルール）

番号	項目	内容
①	通知カード名称を入力	新しい通知カードの名称を入力し保存します。
②	ルールタブ	ルールの設定画面に切り替わります。 (※ルールでは顔認証結果の属性を選択するため、「顔認証」を選択したときのみが表示されます。映像処理を「動体検知」「デジタル入力」に設定すると、ルールタブは表示はされません。)
③	プルダウンメニュー	[顔認証] [動体検知] [デジタル入力] から選択できます。
④	顔認証結果に応じて通知する	[ON] [OFF] を選択します。
⑤	顔認証結果の選択	[未登録者] [なりすまし] [認証成功] から選択します。 (※ [認証成功] を選択すると、さらにグループで選択できます。)
⑥	追加	[追加] ボタンを押して通知カードを保存します。
⑦	キャンセル	[キャンセル] ボタンを押して通知カードを取り消します。 (※スケジュール、ルール、通知方法で設定した全ての内容を取り消します。)

# スマート通知の通知方法設定



通知設定でスマート通知の通知方法を設定します。

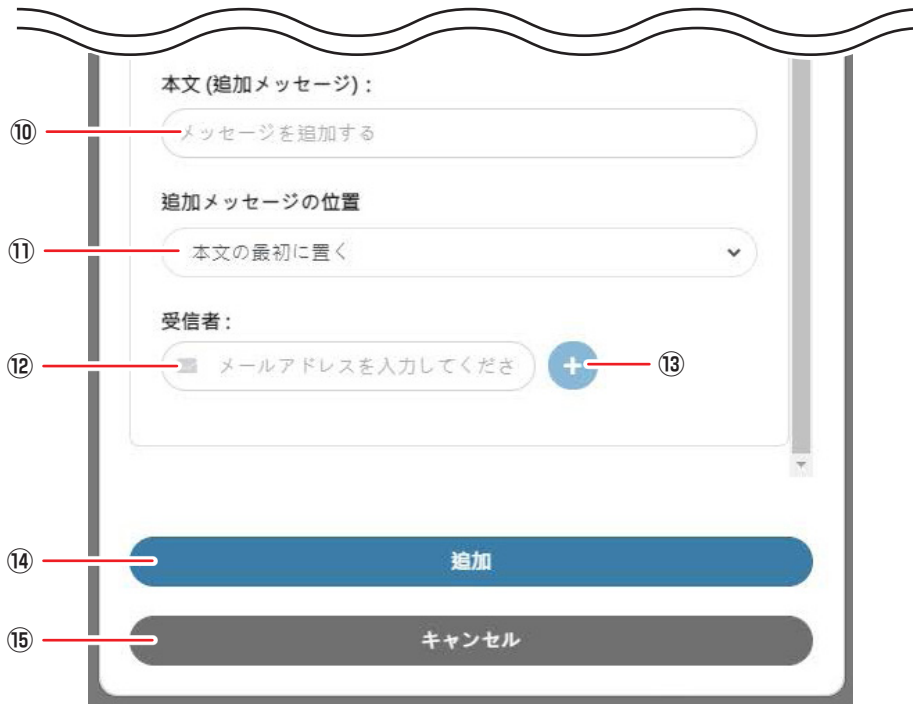
② の [通知方法] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



## スマート通知（通知方法）

番号	項目	内容
①	通知カード名称を入力	新しい通知カードの名称を入力し保存します。
②	通知方法タブ	通知方法の設定画面に切り替わります。
③	プルダウンメニュー	[すべて] [顔認証] [動体検知] [デジタル入力] から選択できます。
④	デジタル入力および出力	[ON] [OFF] を選択します。デジタル出力1および出力2の [ON] [OFF] を選択します。
⑤	HTTP	[HTTP1] [HTTP2] の [ON] [OFF] を選択します。
⑥	SDカードの録画	通知カードのSDカード保存 [ON] [OFF] を選択します。
⑦	メール	[ON] [OFF] を選択します。
⑧	添付ファイル	添付用ファイルを選択します。(顔写真、画面スナップショット)
⑨	件名	件名を入力します。(※半角 256 文字まで入力可能)

## スマート通知の通知方法設定 (つづき)



### スマート通知 (通知方法)

番号	項目	内容
⑩	本文 (追加メッセージ)	メッセージを追加します。(※半角 512 文字まで入力可能)
⑪	追加メッセージの位置	[本文の最初に置く] [本文の最後に置く] から選択します。
⑫	受信者	メールアドレスを入力します。
⑬	⊕	⊕ボタンを押して、入力したメールアドレスを追加登録します。
⑭	追加	[追加] ボタンを押して通知カードを保存します。
⑮	キャンセル	[キャンセル] ボタンを押して通知カードを取り消します。 (※スケジュール、ルール、通知方法で設定した全ての内容を取り消します。)

# ユーザー管理を設定する

はじめに

## メンバーの検索 / 設定



ユーザー管理でメンバーの検索や設定をします。

認証対象のメンバーは、メンバー管理で 追加、編集、削除ができます。



準備

運用・設定

### メンバー（全メンバー表示）

番号	項目	内容
①	検索	メンバー情報のキーワードを入力し検索ます。
②	+新規	[メンバーの新規追加] [イベントからメンバーを追加] から選択します。

その他



# メンバー写真のグループ追加



ユーザー管理でメンバー写真にグループを追加します。

全メンバー表示画面でグループの+ボタンを押します。



## グループを追加する

番号	項目	内容
①	グループ +	[+] ボタンを押してグループを追加するための設定をします。
②	名前	グループの名前を入力します。(最大 32 まで入力可能)
③	備考	備考を入力します。(最大 256 文字まで入力可能)
④	新規	[新規] ボタンを押して新しいグループを作成します。
⑤	閉じる	[閉じる] ボタンを押して設定画面を閉じます。

# メンバーの新規追加



ユーザー管理でメンバーの新規追加を行います。

「メンバーの新規追加」を選択した場合の登録手順

(※「イベントからメンバーを追加」を選択した場合については、P.46 をご参照ください。)

画面右端の [+新規] ボタンを押して写真を登録をします。写真の仕様は下記の通りです。

- ・写真フォーマット：JPEG、BMP、PNG、または HEIC の静止画。
- ・推奨データサイズ：112×112～300×300 ピクセルまで。ファイルサイズ 350KB 以下。
- ・顔は真正面で修正なしの状態。美肌機能のない状態。
- ・真顔が推奨。両目がハッキリ見える状態。眼鏡をかけない状態が推奨。



## メンバーを追加する

番号	項目	内容
①	+新規	[+新規] ボタンを押して「メンバーの新規追加」を選択し設定します。
②	メイン写真 写真 1、2、3、4	新規登録する写真をメンバー写真として追加します。 1人最大5枚まで保存可能です。
③	名前	メンバーの名前を入力します。
④	組織	所属の組織を入力します。(最大32文字まで入力可能)
⑤	グループ	メンバーのグループを選択します。
⑥	備考	備考を入力します。(最大256文字まで入力可能)
⑦	新規	[新規] ボタンを押して新しいメンバーを追加します。
⑧	閉じる	[閉じる] ボタンを押して設定画面を閉じます。

# メンバー写真の編集



メンバー写真を編集します。



## 写真編集

番号	項目	内容
①	写真をドラッグして編集	写真をドラッグして移動、トリミングして編集します。 ※編集時に表示される枠に収まるようにしてください。 ただし、枠内の顔が枠面積の半分以下にならないようご注意ください。
②	回転、拡大縮小	写真を左右回転、拡大縮小して編集します。
③	写真を変更する	[写真を変更する] ボタンを押して編集する写真を変更します。
④	保存する	[保存する] ボタンを押して編集結果を保存します。

# アカウント管理

はじめに



アカウントは、Web 管理画面にログインする ID を管理します。

認証対象のメンバーは、メンバー管理で追加、編集、削除ができます。  
① の [アカウント] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。

準備



運用・設定

## アカウント

番号	項目	内容
①	アカウントタブ	アカウントの管理画面に切り替わります。
②	+新規	[メンバーの新規追加] を行います。

その他

# アカウントの新規追加



ユーザー管理でユーザーの新規追加を行います。

[+新規] ボタンを押してアカウントが追加できます。

The screenshot shows a '新規ユーザー' (New User) registration form. It includes a dropdown menu for '権限' (Role) with '管理者' (Administrator) selected, a text input for 'ユーザー名' (Username), a password input for 'パスワード' (Password), and a confirmation input for 'パスワードを確認する' (Confirm Password). At the bottom are '新規' (New) and '閉じる' (Close) buttons. Red callout lines point to each of these elements, numbered 1 through 6.

## アカウントを新規追加する

番号	項目	内容
①	権限	「管理者」「ゲスト」(*)から選択します。
②	ユーザー名	アカウント名を入力します。
③	パスワード	パスワード入力します。
④	パスワード再入力	パスワードを再入力します。
⑤	新規	[新規] ボタンを押して新しいユーザーを追加します。
⑥	閉じる	[閉じる] ボタンを押して設定画面を閉じます。

※：「ゲスト」の権限は下記の通り制限されます。

- ・メイン画面：ライブビューとデバイス情報のみ表示します。
- ・システム設定：システム情報の閲覧のみで、変更は不可。
- ・ネットワーク設定：ネットワーク設定の閲覧のみで、変更は不可。

# イベントからメンバーの追加



イベント管理からメンバーの新規追加を行います。

録画したイベントを表示し、日時や特定登録者を検索できます。

また AI 機能によって相似性や検証結果を表示します。

① の [ イベント ] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。

The screenshot shows the 'イベント管理' (Event Management) interface. At the top, there are filters for '開始日時' (Start Date) and '終了日時' (End Date), a search bar for 'キーワードを入力' (Enter keyword), and a 'レポートのダウンロード' (Download Report) button. Below this is a table of events with columns for '日時' (Date/Time), 'キャプチャー' (Capture), '登録写真' (Registered Photo), '名前' (Name), 'グループ' (Group), '組織' (Organization), '相似性' (Similarity), '認証結果' (Authentication Result), '備考' (Remarks), and '操作' (Action). The '操作' column has a '追加' (Add) button. A modal titled 'メンバーを追加する' (Add Member) is open, showing a 'メイン写真' (Main Photo) field with a selection icon, four '写真' (Photo) fields (写真1-4) with plus signs, and input fields for '名前' (Name), '組織' (Organization), 'グループ' (Group), and '備考' (Remarks). The modal has '新規' (New) and '閉じる' (Close) buttons at the bottom.

## イベント管理

番号	項目	内容
①	イベントタブ	イベントの設定画面に切り替わります。
②	追加	追加を押して [メンバーの新規追加] [既存のメンバーを追加] から選択します。 <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>【注意】</b> 下記の場合は、メンバーに追加ができません。                      ・写真の品質が足りない。写真に顔が存在しない。                      ・顔の角度が上下 20 度や左右 32 度をこえている。                 </div>

## メンバーを新規追加する

番号	項目	内容
③	メイン写真 写真 1、2、3、4	任意の写真を選択し、メンバー写真として追加します。 1 人最大 5 枚まで保存可能です。
④	名前	メンバーの名前を入力します。
⑤	組織	所属の組織を入力します。(最大 32 文字まで入力可能)
⑥	グループ	グループを選択します。
⑦	備考	備考を入力します。(最大 256 文字まで入力可能)
⑧	新規	[新規] ボタンを押して新しいメンバーを追加します。
⑨	閉じる	[閉じる] ボタンを押して設定画面を閉じます。

# イベントからメンバーの追加（つづき）



イベント管理から既存のメンバーに追加を行います。

The screenshot shows the 'イベント' (Event) management page. At the top, there are filters for '開始日時' (Start Date/Time) and '終了日時' (End Date/Time), a search bar for 'キーワードを入力' (Enter keyword), and a 'レポートのダウンロード' (Download Report) button. Below this is a table of members with columns: '日時' (Date/Time), 'キャプチャー' (Capture), '登録写真' (Registered Photo), '名前' (Name), 'グループ' (Group), '組織' (Organization), '相似性' (Similarity), '認証結果' (Authentication Result), '備考' (Remarks), and '操作' (Action). The '操作' column has a dropdown menu with options: 'メンバーの新規追加' (Add new member), '既存のメンバーに追加' (Add existing member), and '追加' (Add). A red circle highlights the '既存のメンバーに追加' option. A callout box titled '既存のメンバーに追加' (Add existing member) is shown, containing a search bar (1) and an '追加' (Add) button (2).

## 既存のメンバーに追加

番号	項目	内容
①	検索	[検索] ボタンを押すと登録されているメンバーが表示されます。名前やグループなどのキーワードを入力して検索するとメンバーをさらに絞り込むことができます。
②	追加	[追加] ボタンを押して、登録が完了します。 ※すでに5枚の写真に登録しているメンバーには追加できません。

# データベース設定

はじめに



メンバー管理でデータベースのエクスポート、インポートができます。

「メンバー」タブをクリックし、画面左側の [データベース設定] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。

準備

運用・設定

その他



## データベース設定

番号	項目	内容
①	編集	データベースを暗号化して出力する際のパスワードを設定できます。
②	エクスポート	データベースをパソコンなどのローカルフォルダに Zip ファイル形式で出します。
③	ファイルを選択する	インポートするデータベース (Zip ファイル形式のみサポート) を選択します。
④	インポート	[ファイルを選択する] で一度出力したデータベースファイルを選択し、[インポート] でそのデータベースを上書きします。



# デバイスの同期



同一のローカルネットワーク内に本製品が2台以上ある場合、一方のユーザー管理設定内容を他方の機器に同期させることができます。

The screenshot shows a web interface for device management. At the top, there are tabs for 'メンバー' (Members), 'アカウント' (Accounts), and 'イベント' (Events). A '同期する' (Sync) button is highlighted with a red circle and the number 6. On the right, a '+ 追加' (Add) button is highlighted with a red circle and the number 1. Below the tabs, there is a table with columns for 'ホスト' (Host), 'デバイス名' (Device Name), 'ステータス' (Status), and '操作' (Action). One device is listed with IP address 192.168.0.25:80. A modal window titled '新しいデバイス' (New Device) is overlaid on the screen, containing input fields for 'ホスト' (Host), 'ポート' (Port), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password). The '新規' (New) button is highlighted with a red circle and the number 5, and the '閉じる' (Close) button is highlighted with a red circle and the number 7. Other callouts point to the IP address input field (2), the username input field (3), and the password input field (4).

## 新しいデバイス

番号	項目	内容
①	+追加	[+追加] を押すと、デバイスを登録する画面に切り替わります。
②	ホスト / ポート	登録したい機器の IP アドレス / ポート番号を入力します。
③	ユーザー名	登録したい機器のユーザー名を入力します。
④	パスワード	登録したい機器のパスワードを入力します。
⑤	新規	[新規] ボタンを押すと、デバイスの登録が完了します。
⑥	同期する	同期するデバイスにチェックを入れて、[同期する] を押すと、30 秒ほどで完了します。
⑦	閉じる	[閉じる] ボタンを押して設定画面を閉じます。

# 映像処理の設定をする

## 顔認証の設定



映像処理設定で顔認証の設定をします。

画面上の認識範囲や認識した結果の表示有無を設定することができます。

画面左側の [ 顔認証 ] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



### 顔認証

番号	項目	内容
①	顔認証を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
②	認証レベル	[低] [中] [高] から選択します。
③	検知領域	画面でドラッグした範囲のみ検知可能となり、その範囲を囲み線表示します。デフォルトは全画面です。
④	最小検知顔サイズ フィルターを有効にする	ライブビュー画面上で最小検知顔サイズをドラッグして選択します。一定以上のサイズの顔のみ認識することが可能です。位置に関係なくサイズのみ反映されます。
⑤	ライブ画面表示	[メンバー名] [グループ] [未登録者] から選択した項目を表示します。
⑥	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# 動体検知の設定



映像処理設定で動体検知の設定をします。

指定範囲内に一定の動作を検知することができます。  
最大 4 箇所まで設定することができます。

画面左側の [ 動体検知 ] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



## 動体検知

番号	項目	内容
①	動体検知を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。 [ON] を選択し次の操作でプレビュー画面に検知領域を追加します。 (※初期設定は検知領域は設定されていません。) ・検知領域を追加する。⇒ カーソルでドラッグ ・検知領域を削除する。⇒ 削除したい検知領域をクリックの後、 Backspace キーまたは、Delete キー ・検知領域は最大 4 箇所まで設定可能です。
②	感度	スライダーで感度を調整します。
③	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# 分析設定画面

## 映像処理ライセンスの設定



現在有効になっている映像処理ライセンス情報を表示。

映像処理ライセンスキーを入力して、新規起動ができます。



### 映像処理ライセンス

番号	項目	内容
①	ライセンスキー入力	映像処理ライセンスのライセンスキーを入力します。
②	有効化	[有効化] ボタンを押して入力した映像処理ライセンスを有効化します。
③	有効ライセンス	現在有効化された映像処理ライセンスを表示します。

※ [性別年齢推定] [人体感知] は、ライセンスが無いためご利用できません。

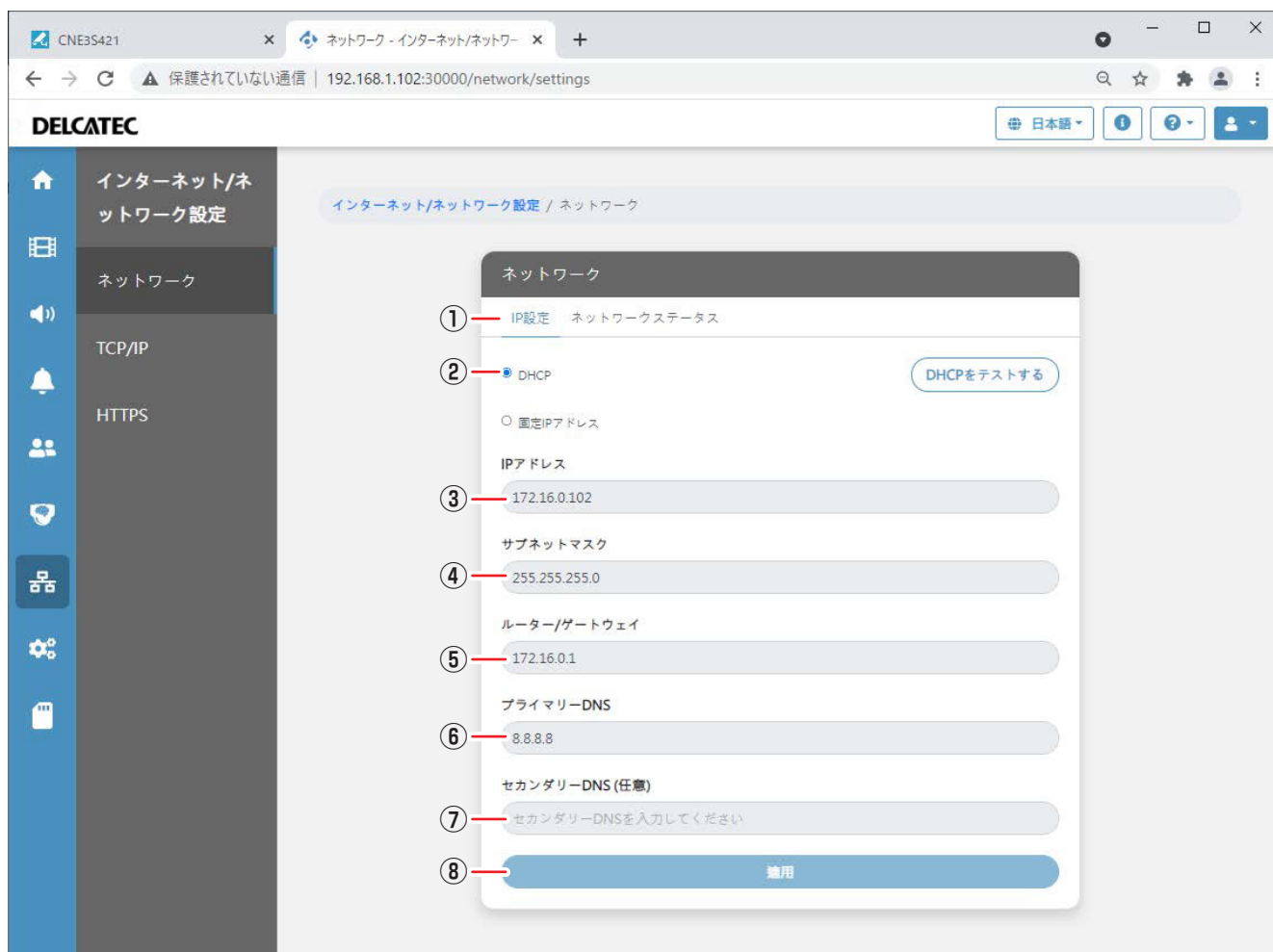
# インターネット / ネットワーク設定画面

## ネットワークの設定



DHCP や固定 IP の設定ができます。

ポップアップ画面左上の [IP 設定] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



### ネットワーク (IP 設定)

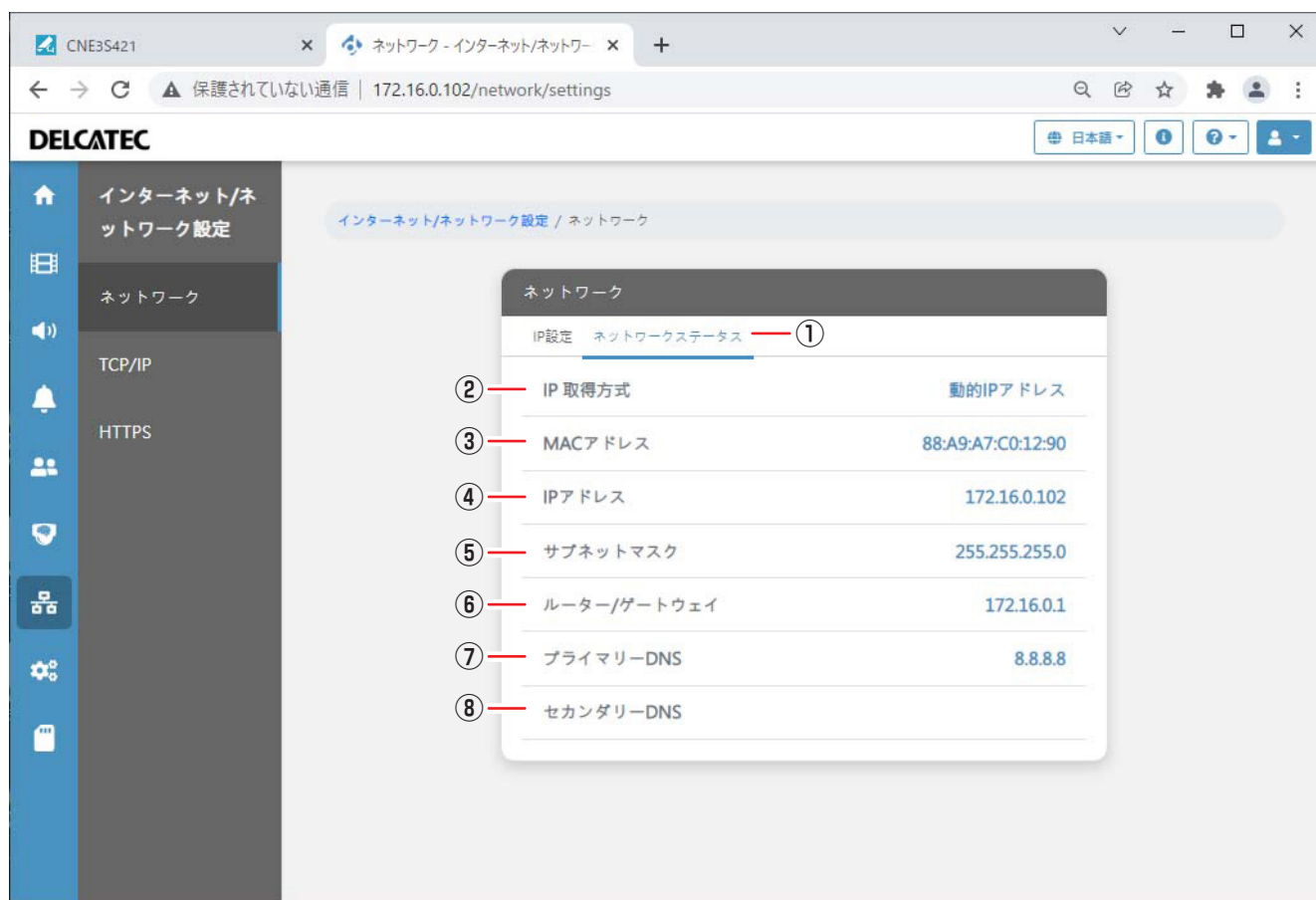
番号	項目	内容
①	IP 設定タブ	IP 設定の設定画面に切り替わります。
②	DHCP	DHCP 環境下で本製品を動作させる場合に DHCP を選択して [DHCP テスト] ボタンでテストします。 DHCP 環境下でない接続では、静的 IP になっているため DHCP が選択できません。
③	IP アドレス	固定 IP アドレスを選択してアドレスを入力します。
④	サブネットマスク	サブネットマスクのアドレスを入力します。
⑤	ルーター / ゲートウェイ	ルーター / ゲートウェイのアドレスを入力します。
⑥	プライマリー DNS	プライマリー DNS を入力します。
⑦	セカンダリー DNS (任意)	セカンダリー DNS を入力します。
⑧	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

## ネットワークの設定 (つづき)



現在のステータスを表示します。

ポップアップ画面左上の [ ネットワークステータス ] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



### ネットワーク (ステータス)

番号	項目	内容
①	ネットワークステータスタブ	ネットワークステータスの設定画面に切り替わります。
②	IP取得方式	IP設定で選択したIP取得方式を表示します。
③	MACアドレス	MACアドレスを表示します。
④	IPアドレス	IPアドレスを表示します。
⑤	サブネットマスク	サブネットマスクのアドレスを表示します。
⑥	ルーター/ゲートウェイ	ルーター/ゲートウェイのアドレスを表示します。
⑦	プライマリーDNS	プライマリーDNSをアドレスを表示します。
⑧	セカンダリーDNS	セカンダリーDNSをアドレスを表示します。

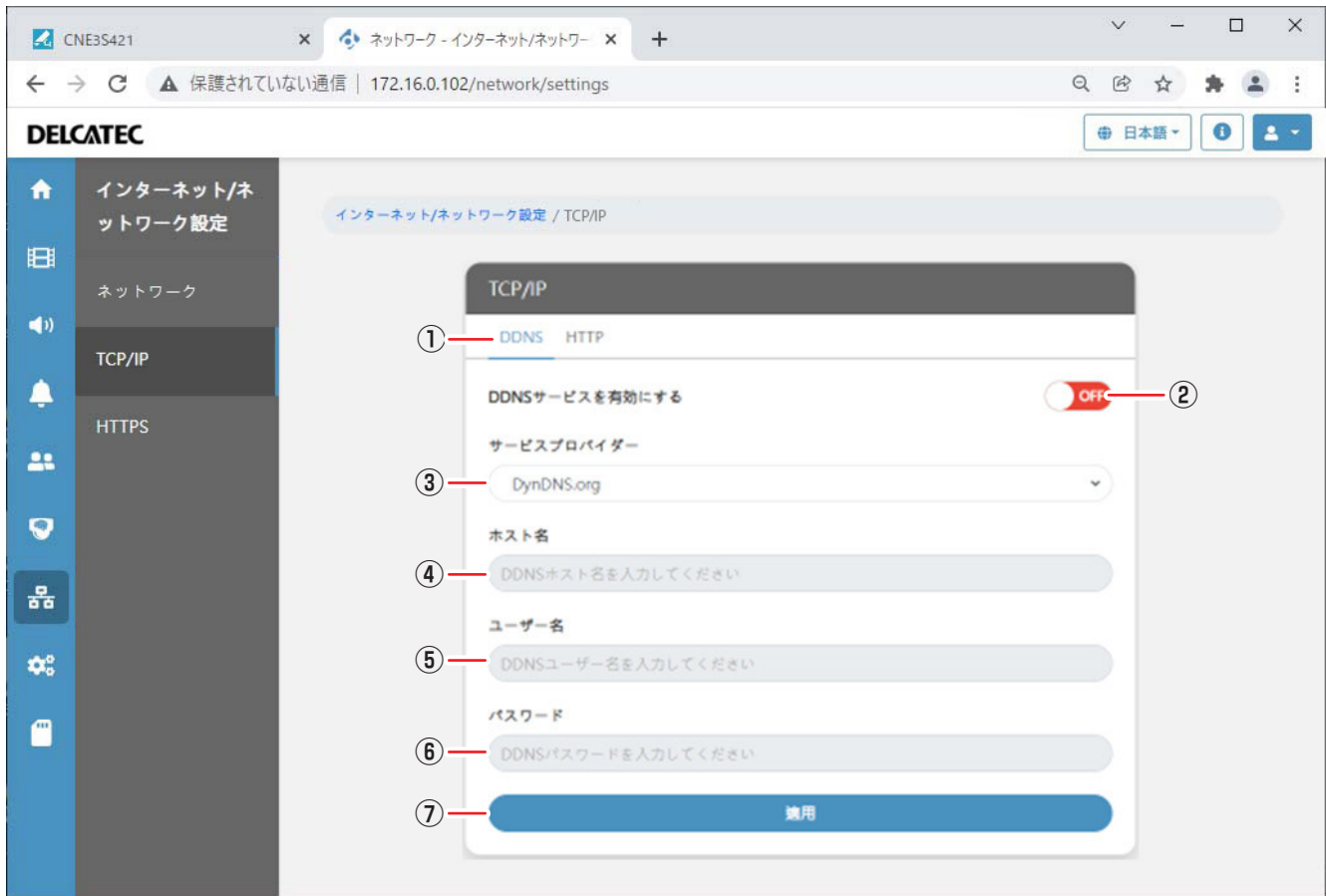
## ネットワークの設定 (つづき)



本製品は Skylink DDNS には対応していませんが、エレコム製無線ルーターをお買い上げいただくことで、インターネット経由 (対応ブラウザ: Edge、Chrome) で Skylink DDNS サービスをご利用いただくことができます。

※詳しくはエレコム公式ホームページをご確認ください。: <http://www.elecom.co.jp>

ポップアップ画面左上の [DDNS] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



### TCP/IP (DDNS)

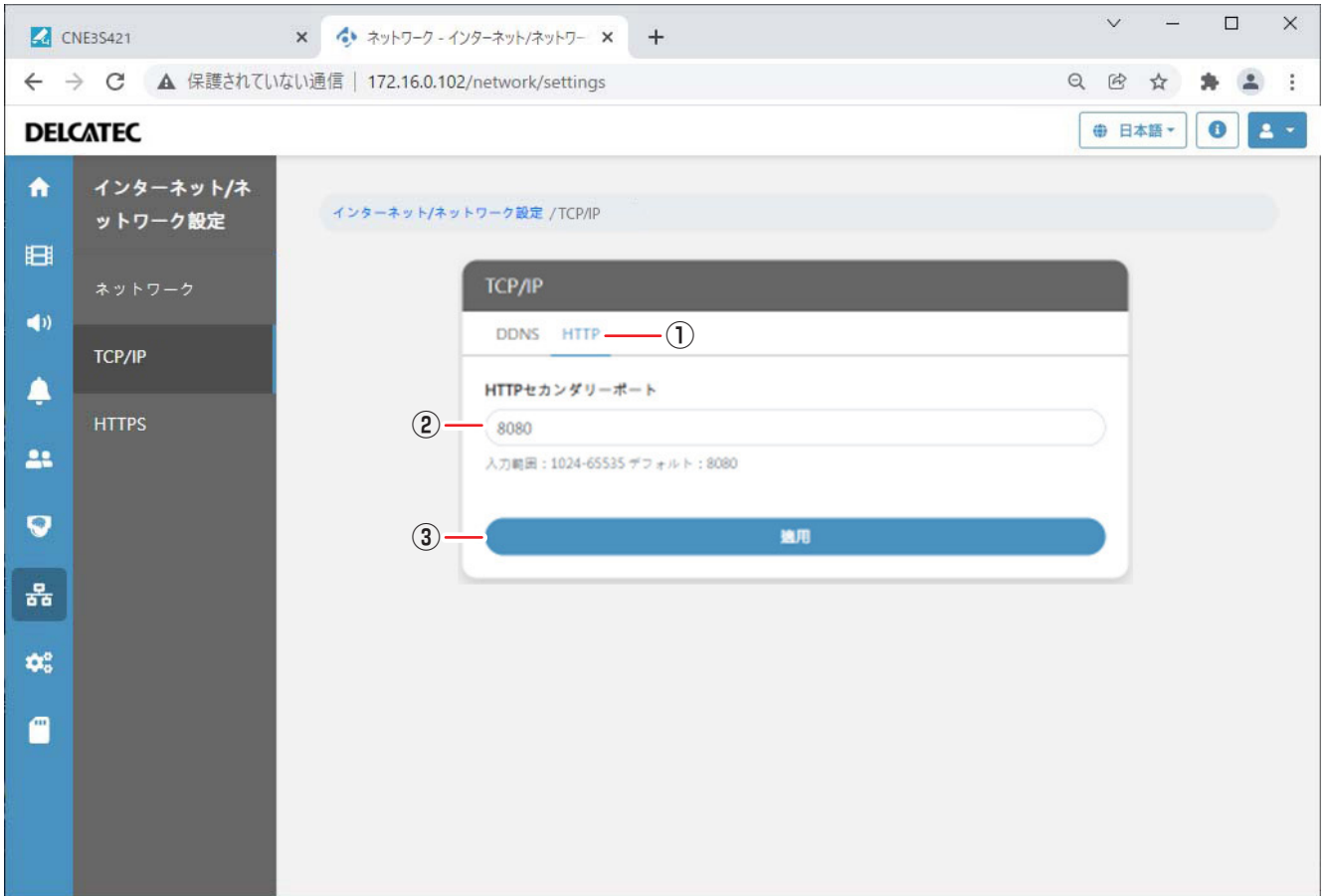
番号	項目	内容
①	DDNS タブ	TCP/IP 設定の DDNS 画面に切り替わります。
②	DDNS サービスを有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
③	サービスプロバイダー	プロバイダーを選択します。
④	ホスト名	DDNS ホスト名を入力します。
⑤	ユーザー名	DDNS ユーザー名を入力します。
⑥	パスワード	DDNS パスワードを入力します。
⑦	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

## ネットワークの設定 (つづき)



本製品に WEB ブラウザから HTTP でアクセスする際のポート番号を指定します。

ポップアップ画面左上の [HTTP] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



### TCP/IP (HTTP)

番号	項目	内容
①	HTTP タブ	TCP/IP 設定の HTTP 画面に切り替わります。
②	HTTP セカンダリーポート	入力可能範囲 [1024 ~ 65535] 初期値 [8080]
③	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

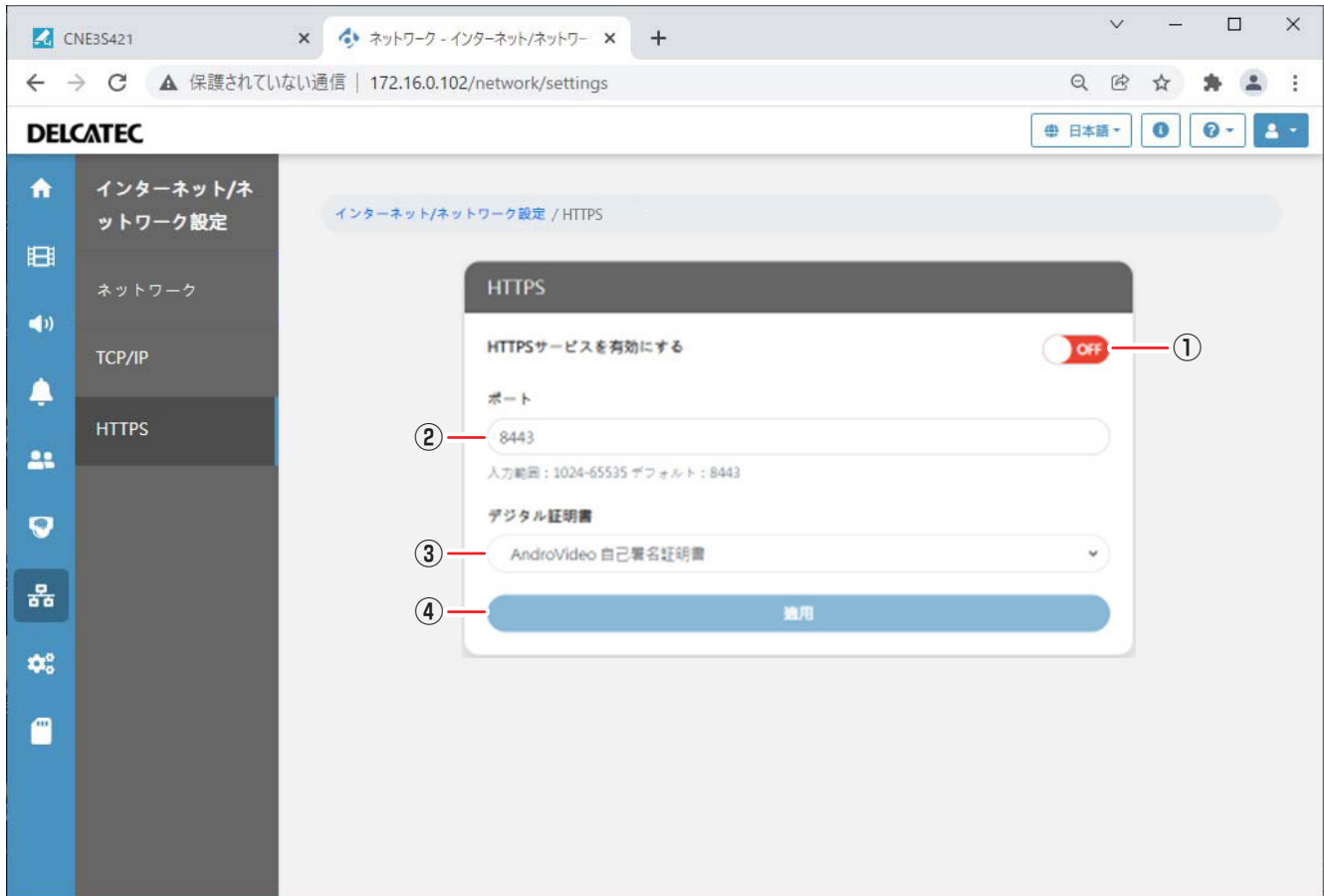


# ネットワークの設定 (つづき)



本製品に WEB ブラウザから HTTPS でアクセスする際のポート番号を指定します。

ポップアップ画面左上の [HTTPS] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



## HTTPS

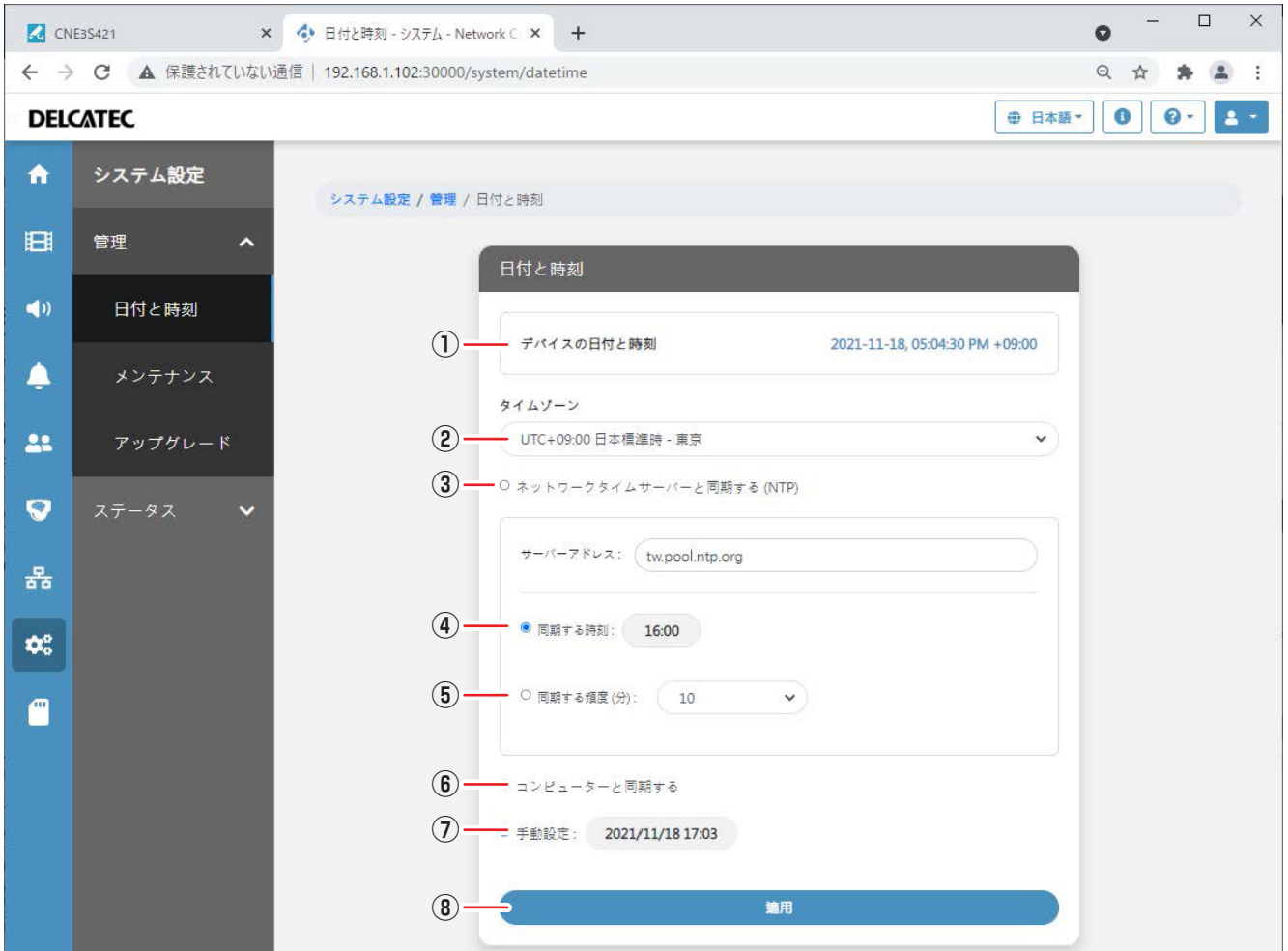
番号	項目	内容
①	HTTPS サービスを有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
②	ポート	入力可能範囲 [1024 ~ 65535] 初期値 [8443]
③	デジタル証明書	証明書を選択します。
④	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# システム画面

## 日付&時刻の設定



本製品の時刻表示を表示、タイムゾーン設定、同期設定ができます。



### システム（日付&時刻）

番号	項目	内容
①	デバイスの日付と時刻	本製品の日時を表示します。
②	タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
③	ネットワークタイムサーバーと同期する (NTP)	ネットワークタイムサーバーの時刻と同期する場合に選択して、ご利用のNTP サーバーアドレスを入力します。
④	更新する時刻	更新する時刻を設定します。
⑤	同期する頻度 (分)	同期する頻度を [ 10 ] [ 30 ] [ 60 ] [ 120 ] [ 240 ] から選択します。
⑥	コンピューターと同期する	パソコンの時刻と同期する場合、選択します。
⑦	手動設定	手動で時刻を設定します。(カレンダー上で設定します。)
⑧	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# メンテナンスの設定



メンテナンスでデバイスの再起動やシステム設定ファイルの初期化、インポート、エクスポートができます。



はじめに

準備

運用・設定

その他

## システム（メンテナンス）

番号	項目	内容
①	デバイスを再起動する	<p>[再起動する] ボタンを押すとシステムメッセージが表示され、[確認]を押すとデバイスを手動で再起動します。</p> <p>[スケジュール] ボタンを押し、[有効にする] を ON にして、[予定時刻]を設定すると、設定した時刻に自動で再起動します。</p>
②	設定を初期値に戻す	<p>「設定を初期値に戻す」にチェックを入れると、本製品は工場出荷状態となり全ての設定がリセットされます。</p> <p>チェックを入れない場合、以下の項目はリセットされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーリストとグループの設定</li> <li>・アカウント設定</li> <li>・レンズ設定</li> <li>・RTSP 設定</li> <li>・ネットワーク設定</li> <li>・SD カードに録画されたデータ</li> </ul>
③	システム設定ファイルをエクスポートする	<p>[エクスポート] を押してシステム設定ファイルをパソコンの任意のフォルダーに書き出します。</p>
④	システム設定ファイルをインポートする	<p>[ファイルを選択する] を押してファイルを選択し、[インポート] を押してシステム設定ファイルを読み込ませます。</p> <p>(※ファイルは Zip 形式のみサポート)</p>

# メンテナンスの設定 (つづき)



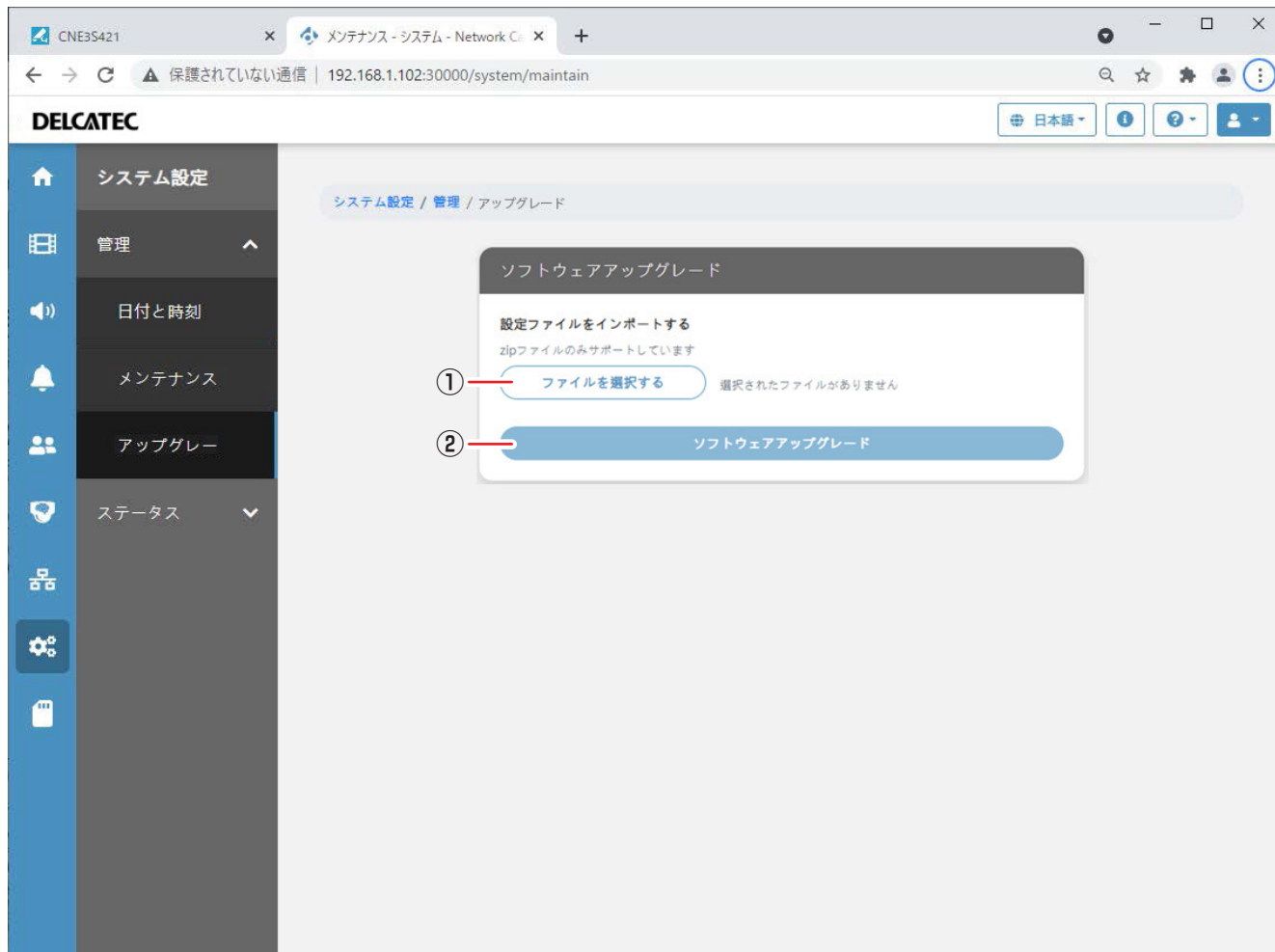
アップグレードで本製品のソフトウェア更新ができます。

はじめに

準備

運用・設定

その他



## システム (アップグレード)

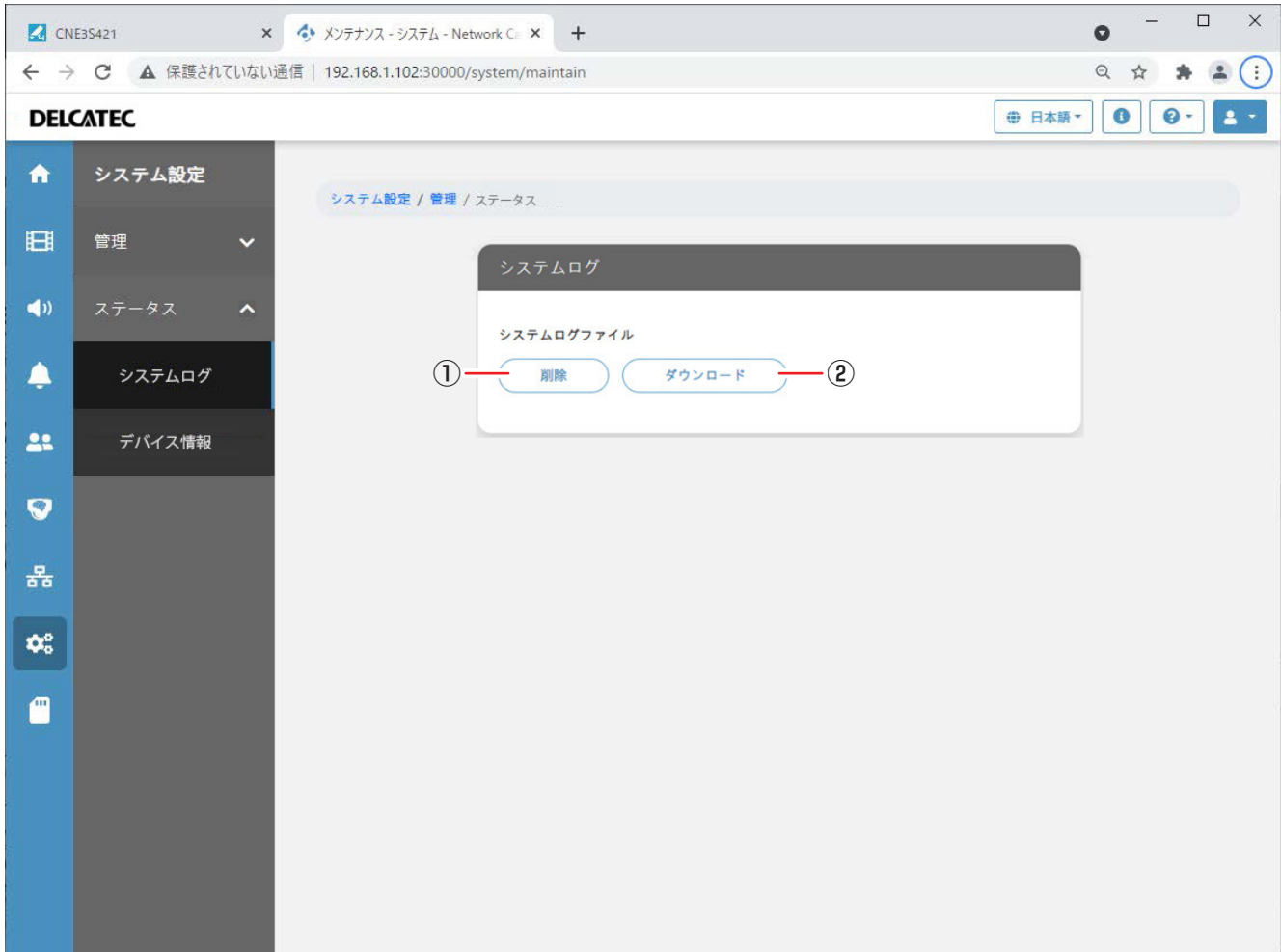
番号	項目	内容
①	ファイルを選択する	[ファイルを選択する] を押して、インポートする設定ファイルを選択します。
②	ソフトウェアアップグレード	[ソフトウェアアップグレード] を押してソフトウェアを更新します。

※ソフトウェアの更新やファイルのダウンロード先については、弊社ホームページをご確認ください。  
URL: <https://dxantenna-product.dga.jp/list.html?page=1&category=145>

# メンテナンスの設定 (つづき)



ステータスで本製品のシステムログの削除や任意のパソコンへのダウンロードができます。



## システム (システムログ)

番号	項目	内容
①	削除	データベース上のシステムログを削除します。
②	ダウンロード	接続しているパソコンにシステムログをダウンロードします。

はじめに

準備

運用・設定

その他

## メンテナンスの設定 (つづき)



ステータスで本製品のソフトウェアバージョン、シリアル番号、MAC アドレスが確認できます。

The screenshot shows a web browser window with the URL `192.168.1.102:30000/system/maintain`. The page title is "DELCATEC". The left sidebar contains navigation items: "システム設定", "管理", "ステータス", "システムログ", and "デバイス情報". The main content area displays "デバイス情報" (Device Information) with the following details:

デバイス情報	
ソフトウェアバージョン	CAB_SR2.0.0.113
シリアル番号	TAVLA000020
MACアドレス	88:A9:A7:C0:12:92

はじめに

準備

運用・設定

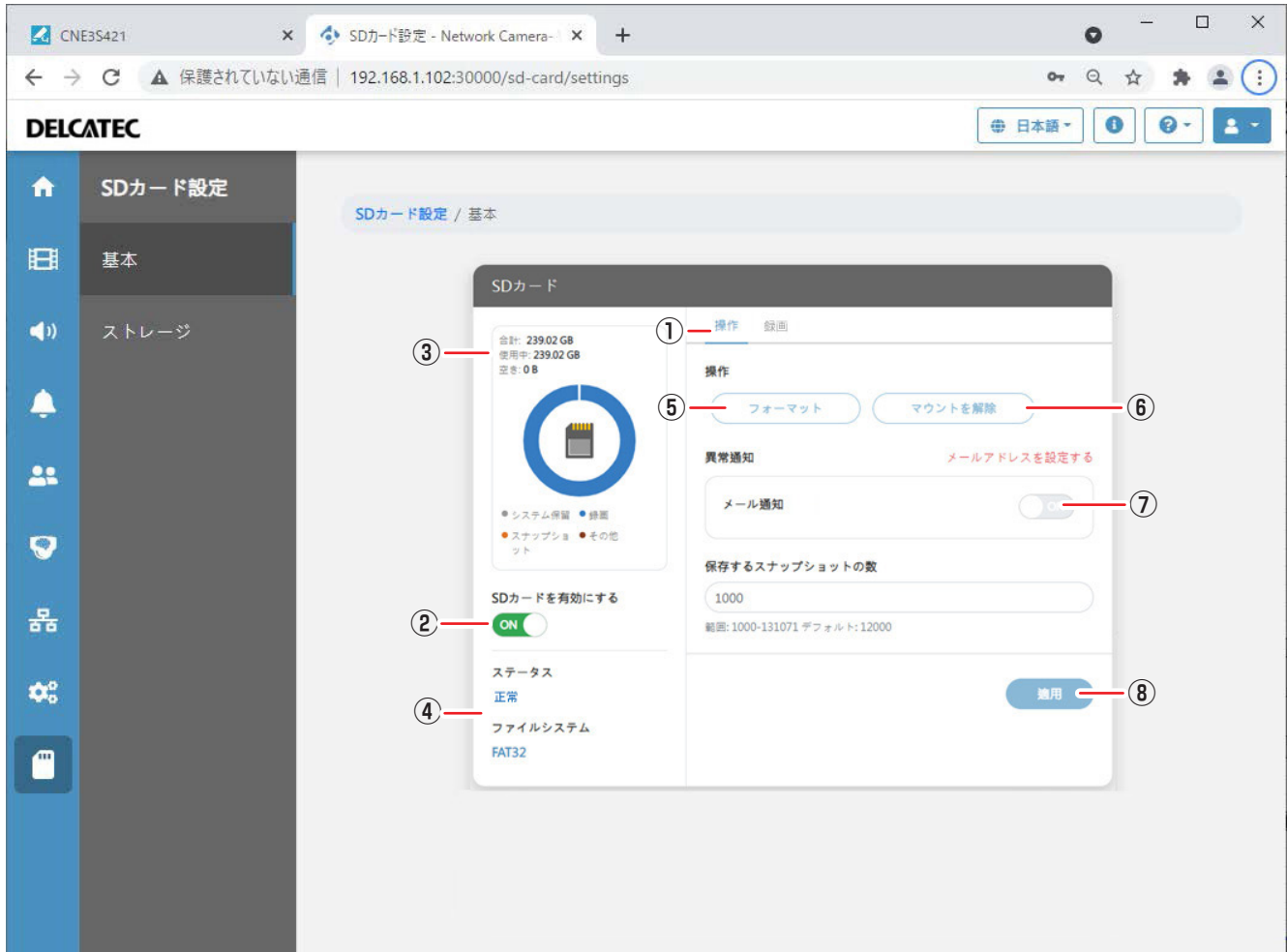
その他

# SD カードの設定



SD カードの情報の表示と設定ができます。

ポップアップ画面左側の [ 操作 ] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



## SD カード (基本・操作)

番号	項目	内容
①	操作タブ	操作の設定画面に切り替わります。
②	SD カードを有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
③	使用可能合計	マイクロ SD カードの空き容量、使用中のメモリ容量を表示します。
④	ステータス ファイルシステム	ステータス、ファイルシステムの状態を表示します。
⑤	フォーマット	マイクロ SD カードをフォーマットします。(※フォーマットすると自動的に FAT32 形式になります。)
⑥	マウント解除	マイクロ SD カードのマウントを解除します。(※イベントによるキャプチャは保存されません。)
⑦	メール通知	異常を知らせるメールを通知できます。 詳しくは、P.38「スマート通知の通知方法設定」を参照してください。
⑧	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。

# SD カードの設定 (つづき)

はじめに

準備

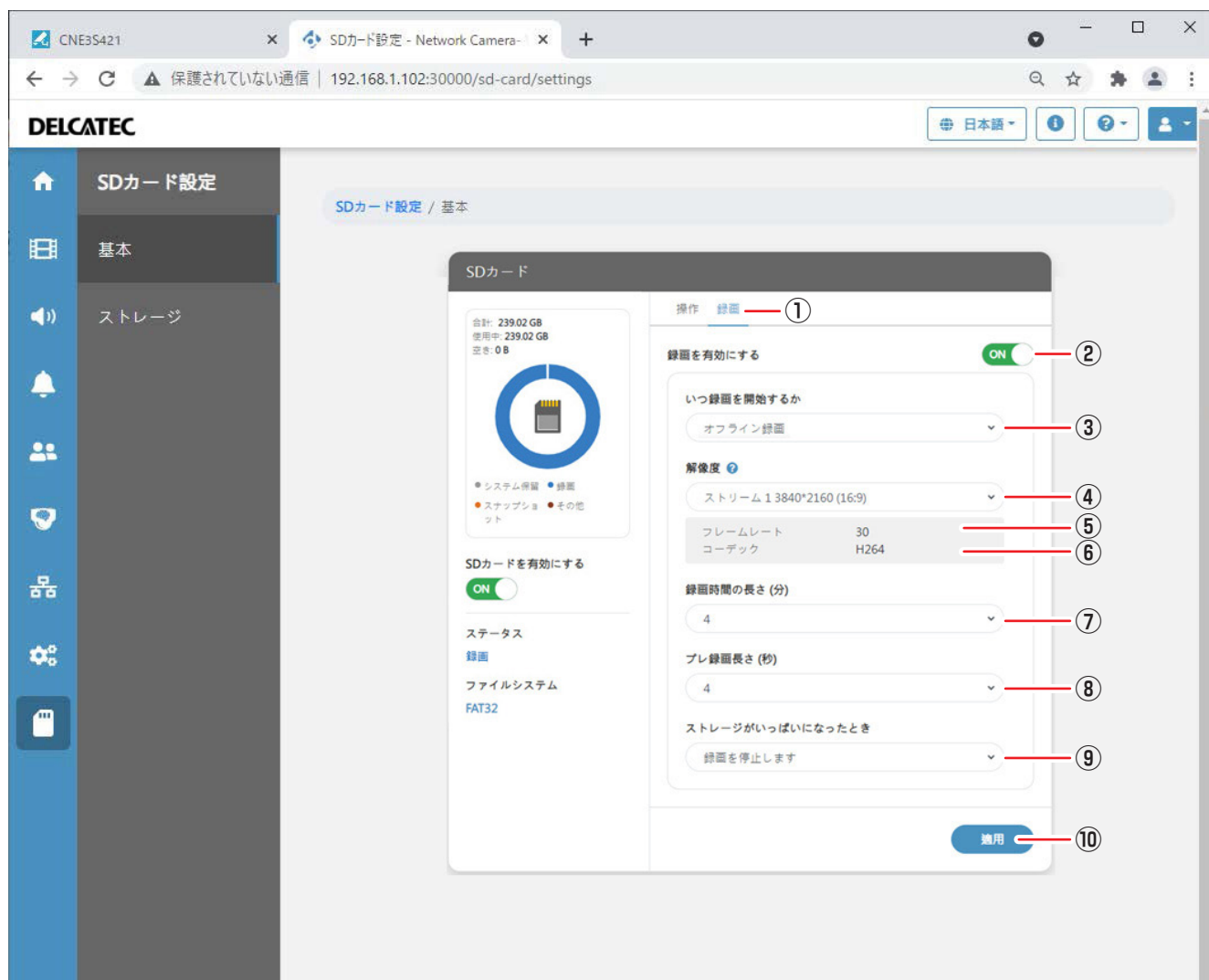
運用・設定

その他



SD カードの情報の表示と設定ができます。

ポップアップ画面左側の [録画] タブを選択して、下記の設定画面を表示します。



## SD カード (基本・操作)

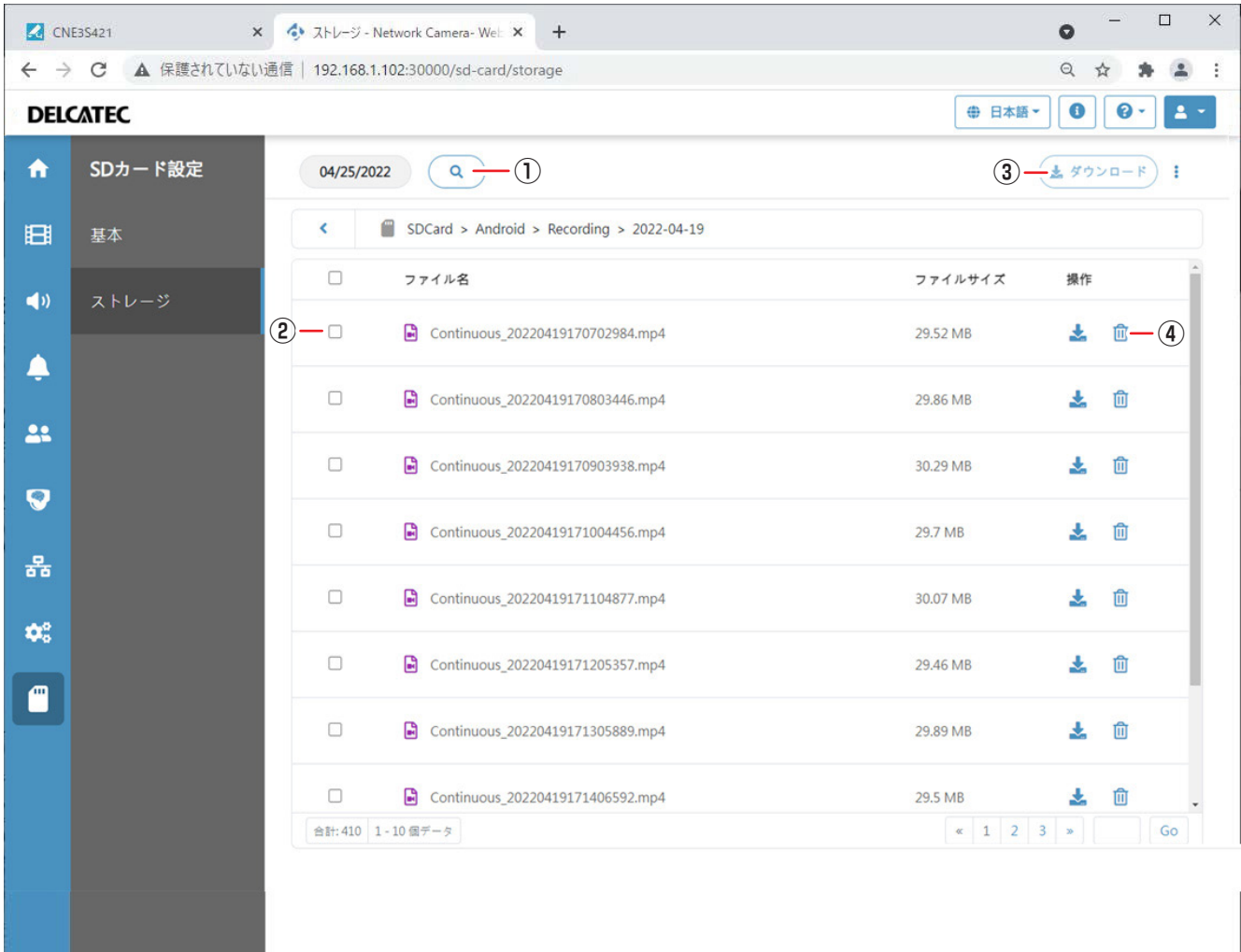
番号	項目	内容
①	録画タブ	録画の設定画面に切り替わります。
②	録音を有効にする	[ON] [OFF] を選択します。
③	いつ録音を開始するか	[オフライン録画] [イベント検知録画] [連続録画] から選択します。
④	解像度	[ストリーム1 3840×2160(16:9)] [ストリーム2 1280×720(16:9)]から選択します。 ※ストリーム2のコーデックが [ MJPEG ] の場合、ストリーム2は選択できません。 ※録画解像度の変更は P.26 「ストリームの設定」をご参照ください。
⑤	フレームレート	フレームレートの変更は P.26「ストリームの設定」をご参照ください。
⑥	コーデック	コーデックの変更は P.26「ストリームの設定」をご参照ください。
⑦	録音時間の長さ (分)	1 ~ 5 分から選択します。
⑧	プレ録画長さ (秒)	0 ~ 10 秒から選択します。※③で [連続録画] を選択した場合、0 秒で固定されます。
⑨	ストレージがいっぱいになったとき	[録音を停止します] [古いファイルを上書きする] から選択します。
⑩	適用	[適用] ボタンを押して設定を保存します。



# ストレージの設定



ストレージの情報の表示と設定ができます。



はじめに

準備


運用・設定

その他


## SD カード (ストレージ)

番号	項目	内容
①	虫メガネ	[虫メガネ] ボタンを押して、録画ファイルが入ったディレクトリを開きます。
②	録画ファイル	ストレージの録画ファイル情報を表示します。 録画ファイルの左にチェックマークを付けることで、複数選択しての削除やダウンロードが出来ます。
③	ダウンロード	チェックマークを付けた録画ファイルをダウンロードします。
④	削除	[削除] を押して録画ファイルを削除します。

製品に関する  
お困りごとを解決!



スマートフォンで  
各種設定方法が  
わかる➡



DXアンテナ サポートポータル

ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。  
QRコードからアクセスしてください。

[1015]